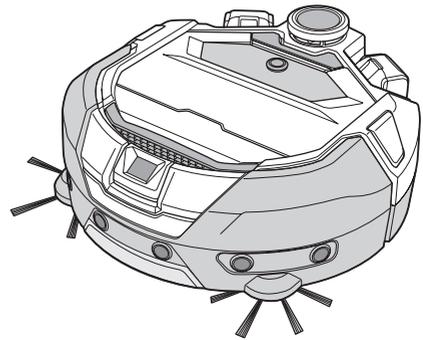


Makita

取扱説明書

ロボットクリーナ

モデル RC300D



このたびはロボットクリーナをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ ロボットクリーナについて	4
・ 主要機能	4
・ 安全上のご注意	5
・ ロボットクリーナ安全上のご注意	8
・ 電波に関するご注意	11
・ 各社の商標または登録商標	12
・ 各部の名称	13
・ 標準付属品	17
・ 別販売品のご紹介	17
・ バッテリー (別販売品)	19
・ お掃除の前に	20
・ ロボットクリーナの持ち運びについて	20
・ ロボットクリーナでの掃除について	20
・ ロボットクリーナの落下を防ぐために	21
・ 掃除場所の整理	23
・ ご使用の準備	25
・ サイドブラシを取り付ける	25
・ ダストボックスを開梱する	25
・ リモコンに電池を入れる	26
・ バッテリー (別販売品) を取り付ける／取りはずす	27
・ 電源を入れる／切る	27
・ 掃除の前に設定しておくこと	28
・ 使い方	29
・ 掃除をする	29
・ マッピングをして部屋を掃除する	30
・ マッピング情報を削除する	31
・ 掃除を一時停止／終了する	32
・ 吸引ファンのオン／オフを切り替える	32
・ 位置おしらせ機能を使う	33
・ 入タイマー／切タイマーを使う	33
・ 掃除範囲を制限する	35
・ 別販売品の取り付け／取りはずし／使い方	37
・ ゴミの捨て方	37
・ ロボットクリーナの設定	39
・ 時刻を設定する	39
・ Wi-Fi® を設定する (ロボットクリーナとスマートフォン)	40
・ サウンドを設定する	40
・ 設定をリセットする	41
・ お手入れ	42
・ 保守点検	42
・ 修理について	47

- ・ お知らせ／エラー表示-----48
 - ・ お知らせとエラー表示を解除する-----48
 - ・ お手入れなどのお知らせ-----49
 - ・ エラーのお知らせ-----49
- ・ トラブルシューティング-----51
- ・ 保管-----56
- ・ スマートフォンアプリ（RC300D 用）-----57
 - ・ 目次-----57
 - ・ アプリでできること-----57
 - ・ アプリのインストール方法-----57
 - ・ ホーム画面-----59
 - ・ アプリで掃除をする-----59
 - ・ 掃除の履歴を確認する-----63
 - ・ マッピング情報を追加／変更／削除する-----66
 - ・ 設定を変更／確認する-----74
 - ・ トラブルシューティング-----78
- ・ ロボットクリーナ 保証書-----80

ロボットクリーナについて

主要機能

主要機能	モデル	RC300D
電動機		ブラシレスモーター
使用可能バッテリー (別販売品)		リチウムイオンバッテリー バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah) バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah) バッテリー BL1830 (容量 3.0 Ah) バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah) バッテリー BL1840 (容量 4.0 Ah) バッテリー BL1850 (容量 5.0 Ah) バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah) バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
電圧		直流 18 V
連続使用時間※ 1 ※ 2		約 240 分
集じん容積		3.0 L
本製品寸法		長さ 500 mm × 幅 500 mm × 高さ 204 mm
質量※ 2		10.6 kg
無線通信	通信方式	1. ロボットクリーナとリモコン: Bluetooth 2. ロボットクリーナとスマートフォン: Wi-Fi® (SoftAP)
	通信想定距離	1. 20 m 以下 2. 10 m 以下
無線 LAN 規格		IEEE 802.11 b/g/n
周波数帯		2.4 GHz
暗号化方式		WPA/WPA2
WPS バージョン		バージョン 2.0
レーザー出力		1 mW 以下 (波長: 775-800 nm) (クラス 1)

- ・ 本製品は日本国内向け仕様です。海外ではご使用できません。
 - ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。
 - ・ 本製品の LiDAR センサは、IEC 60825-1:2014「レーザー製品の安全基準」クラス 1 レーザー製品です。
- ※ 1. 吸引ファンがオンで、P タイルなどの平滑な床で使用した場合。使用時間は、運転する場所の状況、床面の種類、バッテリーの状態、室温などにより異なります。また、低温環境ではリチウムイオン電池の特性上、使用時間が短くなることがあります。
- ※ 2. BL1860B を 2 個装着時。

バッテリーアダプタ類について

本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

安全上のご注意

注意文の  **警告** ・  **注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意**、 **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注** : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

 **警告**



水洗いしないでください。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しないでください。

- ・ モーターに水分が入ると、ショートし、発熱、発火の原因になります。
- ・ 部品によっては水洗いが可能です。P.42「お手入れ」を参照してください。

 **警告**



絶対に分解したり修理・改造しないでください。

- ・ 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

子供に本製品や充電器で遊ばせないでください。

- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

屋外で使わないでください。

階段や急な坂道など不安定な場所で使用しないでください。

- ・ 本製品が転倒・落下し、けがの原因になります。

マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しないでください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

火気や暖房器具などに近づけないでください。

- ・ 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使用したり、充電したりしないでください。

- ・ 爆発や火災の原因になります。

温度が 50℃ を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

- ・ 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
- ・ バッテリーが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

火災の原因となりますので、以下の状況では充電をしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上
- ・ 風窓のある充電器で、充電中に風窓をふさいでいる。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込んでいる。
- ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所

雨中で充電したり、濡れた手で電源プラグやバッテリーを抜き差ししないでください。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけないでください。

- ・ 感電やけがをすることがあります。

 警告	
<p>充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。 	
<p>専用の充電器以外は使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。 	
<p>充電器は充電以外の用途に使用しないでください。また、バッテリーや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しないでください。</p>	
<p>充電器のコードを乱暴に扱わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。 コードを熱、油、薬品、角のあるところに近づけないでください。 コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。 	
<p>充電器のコードが傷んだり、電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。 	
<p>充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。</p>	
<p>バッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 端子に金属類を接触させないでください。 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。 雨や水に濡らさないでください。 分解、改造はしないでください。 火中に投入しないでください。 	
<p>高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。 	

 警告	
<p>マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。 	
<p>バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。 	
<p>落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱や破裂、発火の原因になります。 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。 	
<p>使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。 	
<p>使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして捨てないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 捨てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。 	
<p>バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。</p>	
 警告	
<p>本製品の誤始動を防ぐために、お手入れや点検時は必ず電源を切り、バッテリーを抜いてください。</p>	
<p>本製品にバッテリーを差し込む際は、電源が入らないように注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> スタート/ストップボタンに指をかけるなど、電源が入る状態でバッテリーを装着すると、急に動き出し事故の原因になります。 	

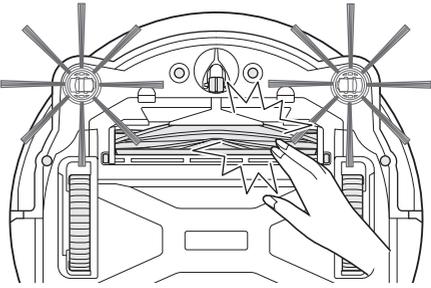
 警告	
<p>誤って落したり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。 	
<p>本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。 	
<p>使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちに電源を切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。</p> <ul style="list-style-type: none"> そのまま使用していると、けがや事故の原因になります。 	
<p>本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。 	
<p>損傷した部品がないか点検してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。 	
<p>本製品は、注意深く手入れをしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。 持ち運び用ハンドルは、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。 	

 警告					
<p>使用しない場合は、きちんと保管してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全なところ、または鍵のかかるところに保管してください。事故の恐れがあります。 					
<p>交流 100 V で充電してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。 ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。 					
<p>充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>太さ（導体公称断面積）</th> <th>長さの目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.0 mm²</td> <td>30 m</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能力で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。 		太さ（導体公称断面積）	長さの目安	2.0 mm ²	30 m
太さ（導体公称断面積）	長さの目安				
2.0 mm ²	30 m				
<p>充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。 					
<p>充電式製品を高圧電線の近くで使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 誤動作や故障する恐れがあります。 					

 注意	
<p>付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 確実にないと、はずれたりして、けがや破損、事故の原因になります。 	
<p>持ち運ぶときは必ず本製品の持ち運び用ハンドルを持って運んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 持ち運び用ハンドル以外を持って持ち運ぶと、故障やけがの原因になります。 	

ロボットクリーナ安全上のご注意

 警告	
<p>囲いのない高所や階段などの幅が狭い場所で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品の落下によるけがや故障の原因となります。 	
<p>食用油など油成分が浮遊している場所や美容院、美容院、クリーニング店などのスプレーや化学薬品を使う場所、屋外で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 故障の原因となります。 	
<p>本製品の操作が適切にできない人や幼児、乳幼児がいる場所で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や事故、けがの原因となります。 	
<p>動物などがいる場所で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や事故、けがの原因となります。 	
<p>人が多いところや、出入りの多い場所で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や事故、けがの原因となります。 	
<p>排気口や吸引口をふさいだり、金属や燃えやすい異物などを入れたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や発火、故障の原因となります。 	
<p>吸引口をふさぐ恐れのあるもの近くでは、使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や発火、故障の原因となります。 	
<p>火中に投入や加熱をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ショートや発火、液漏れ、爆発の原因となります。 	
<p>火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など高温の場所に置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ショートや発火、液漏れ、爆発の原因となります。 	
<p>本製品にものをかぶせないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過熱して発火の原因となります。 	
<p>直射日光を本製品に当てないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> LIDAR センサおよび赤外線センサが誤反応し、誤作動や故障の原因となります。 	
<p>本製品の各センサをふさいだり、異物を入れたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動作不良や誤作動、故障の原因となります。 	

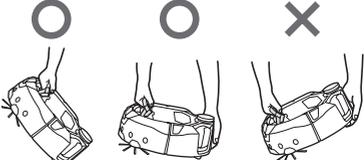
 警告	
<p>センサや車輪にシールやテープを貼らないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 誤作動や故障の原因となります。 	
<p>本製品に乗ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品の破損や故障、けがの原因となります。特にお子様にはご注意ください。 	
<p>動作中は駆動車輪に触れたり、本製品の下に手や足を入れたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手などにけがをする原因となります。特にお子様にはご注意ください。 	
	
<p>子供だけで使用しないでください。また、自分で意思表示ができない人や、自分で操作できない人も使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や事故、けがの原因となります。 	
<p>本製品（回転ブラシやサイドブラシ、ダストボックス、フィルタを除く）に水や洗剤をかけたり、洗ったりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電やショート、発火の原因となります。 	
<p>濡れた手で触らないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電の原因となります。 	
<p>破れや変形があったり、磁力が弱くなったと感じたりするセンサーウォールシートは使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故やけがの原因となります。 	
<p>本製品の吸引口や排気口に手、髪などの体の一部または身に着けたものを入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの原因となります。 	
<p>回転中のブラシに手、髪などの体の一部または身に着けたものを触れさせないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> けがをする恐れがあります。 	

 警告	
<p>以下のものは吸わせないでください。火災やけがやモータの故障の原因となります。</p> <p>引火性物質</p> <ul style="list-style-type: none"> 油類（灯油・ガソリンなど） 溶剤（ベンジン、シンナーなど） マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついてるもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど トナーなどの可燃物 塗料 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など 可燃性ガス（スプレーなど） <p>爆発性物質</p> <ul style="list-style-type: none"> ニトログリセリンなど 発火性物質 アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気 <p>鋭利なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針など <p>じゅうたん洗剤などの泡状のものなど 固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン） 除湿剤 大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など） 中毒症状を起こす物質 薬品類 液体や湿ったゴミ 動物などの排泄物、吐しゃ物 大きな紙やビニールゴミ、ひも類</p>	
<p>火災の原因となりますので、以下の状況では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 可燃物が大量に舞っている。 排気口がふさがっている。 ダストボックス、フィルタが取り付けられていない。 回転ブラシにゴミがからまってブラシがロックしている。 フィルタに穴や破れがある。 バッテリーがしっかり差し込まれていない。 	
<p>USB 電源部（修理用）の端子間を短絡（ショート）させないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 針、針金が USB 電源端子部に入ると短絡（ショート）し、発火、発煙の恐れがあります。 	
<p>レーザー光（ビーム）を直接のぞきこまないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> レーザー光が目直接当たると、目を傷める原因となります。 	

 警告	
<p>電源を入れても、ときどき運転しないときは使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発煙や発火、感電の原因となります。 	
<p>本製品が変形したときや異常に熱いときは直ちに使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発煙や発火、感電の原因となります。 	
<p>運転中にときどき止まるときは使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発煙や発火、感電の原因となります。 	
<p>運転中に異常な音がするときは直ちに使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発煙や発火、感電の原因となります。 	
<p>こげくさい臭いがするときは直ちに使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発煙や発火、感電の原因となります。 	
<p>テーブルや棚の上にある火のついたろうそくや花瓶などは、使用前やお手入れ前に移動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品が当たった衝撃で落下し、事故の原因となります。 	
<p>本製品が引きずる可能性のあるゴムバンドなどは、使用前やお手入れ前に移動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品がゴムバンドなどを引きずり、事故の原因となります。 	
<p>本製品と同じくらいの高さに操作部がある設備や機器は、使用前やお手入れ前に移動してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品が当たって操作部を押し、火災やけが、事故の原因になります。 	
<p>お手入れ時や点検時は、必ず本製品の電源を切り、バッテリーをはずしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電やけがの原因になります。 	
<p>お手入れ時は、指をさはまれないように注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの原因になります。 	
<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から 15 cm 以上離して使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電波により医療機器の動作に影響を与える恐れがあり、医療機器の誤作動の原因となります。 	
<p>医療機関内で電波を発する機器を使用する場合は、各医療機関の指示に従ってください。また、使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の誤作動の原因となります。 	

 注意	
<p>ご使用時やお手入れ時は、すき間や開口部に異物を入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電や火災、本製品の故障の原因になります。 	
<p>毛足の長い（7 mm を超える）じゅうたんなどの敷物の上では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> サイドブラシがからみついて、じゅうたんやサイドブラシを傷める原因になります。 	
<p>傷みやすい敷物（ムートンやフェルト素材など）や床面（白木床面や大理石床面など）、ワックス塗った床面では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 破損やキズ付きの原因になります。破損した場合は使用を中止してください。 	
<p>本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 急に本製品が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。 	
<p>吸引口をふさいで長時間運転しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。 	
<p>本製品の下に手や足を入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指をはさんで、けがをする恐れがあります。 	
<p>フィルタが汚れていたり、ゴミがたまった状態のまま使用を続けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 吸引力が低下する原因となります。 	

 注意	
<p>誤作動防止のため、各センサをお手入れしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> センサが正しく反応しないと、本製品の誤作動・落下によるけがや故障の原因になります。 	
<p>じゅうたんやマットなど敷物の長い飾り房は、敷物の下に折り込んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 駆動車輪や回転ブラシが飾り房を巻き込んで、敷物や本製品が破損する原因になります。 	
<p>本製品を運ぶときは、運転を停止してから、電源を切ってください。手をはさまないように、持ち運び用ハンドルをしっかり持ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不用意に持ち上げると、けがや故障の原因になります。 	

 注意	
<p>本製品の前面を下に向けて持たないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口部からゴミがこぼれることがあります。 	
	
<p>本製品に引っかからないよう、コードやひもを片付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コード巻き込みなどによる故障や動作不良の原因になります。 	
<p>壊れやすいものや倒れやすいもの、吸い込まれて困るものは、お掃除の前に移動してください。また、長いひもやコード類を片付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 破損やキズ付き、本製品の故障の原因になります。 	
<p>フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れた状態で使用したりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> モータ焼損など、故障の原因になります。 粉じんがもれ出し、健康を害する恐れがあります。 	
<p>ふたやダストボックスのふたの開閉時、フィルタの取り付け時、バッテリーの抜き差しの際に、指をはさまないように注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指をはさんで、けがをする恐れがあります。 	

取り扱いについて

- 本製品は屋内でご使用ください。また、屋内であっても、粉じんの多い場所は、掃除しないでください。
- 表面がかたく、でこぼこした床は掃除しないでください。ブラシ類・車輪類が早く摩耗する原因になります。
- お掃除後、回転ブラシやサイドブラシ、車輪類に付いた砂ゴミは取り除いてください。そのまま使用すると、床面をキズ付ける原因になります。
- 回転ブラシと回転ブラシカバーは必ず取り付けてご使用ください。
- 回転ブラシなどの可動部分に注油しないでください。プラスチックが割れる原因になります。
- 畳上使用の際は、別販売品の「ソフト回転ブラシ」と「ソフトサイドブラシ」に付け替えることをおすすめいたします。ただし、畳の状態によってはキズ付きが発生する場合がありますので、その際は使用を中止してください。

- ・ 本製品を引きずらないでください。持ち上げて移動させてください。
- ・ センサ部や車輪にシールやテープを貼ったり、バンパーや車輪類を変形させたり、バンパーを無理に押し付けたりしないでください。誤作動の原因になります。
- ・ 細かい粉類（石こうやセメント、チョークなど）を吸わせただけの場合は、フィルタおよび段差センサ、LiDARセンサをお手入れしてください。
- ・ 本製品内部のキズ付きやゴミの詰まり、故障の原因になりますので、次のものは吸わせしないでください。誤って吸い込んだ場合は運転を停止して、ゴミを捨ててください。
 - ・ 水分を含んだゴミ（液体や湿ったゴミ）
 - ・ 動物などの排泄物
 - ・ 大量の砂や粉末
 - ・ ひも類
 - ・ 鋭利なもの（ガラス・刃物・ピンなど）
 - ・ 大きなゴミや大量のゴミ
 - ・ 通気性の悪いもの（食品用ラップやビニール、包装用フィルムなど）
- ・ 吸引口のボトムブラシやキャスト、駆動車輪、回転ブラシカバーのローラ部が摩耗した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。摩耗したまま使用すると、床面をキズ付ける原因になります。
- ・ 運転中、テレビの画面にノイズが発生することがありますが、テレビ本体に影響はありません。
- ・ セキュリティシステムなどが稼働しているところで、運転させるときは注意してください。セキュリティシステムが、侵入者と誤検知する場合があります。
- ・ 次のことはしないでください。
 - ・ バッテリーを取り付けた状態で長期間の不使用
 - ・ センサが汚れた状態、フィルタが目詰まりした状態での使用
 - ・ バッテリーの異常（異臭、液漏れ、発熱、変形、変色、その他異なること）に気づいたときの使用
 - ・ 回転ブラシ、サイドブラシ、車輪類に付いた砂ゴミなどを取り除かず使用
 - ・ 各部部品が摩耗、消耗した状態での使用
 - ・ 取扱説明書を読まずに使用
 - ・ バッテリーを取り付けたままでの裏返しやメンテナンス
 - ・ センサーウォールシートのメンテナンスをせず使用

アスベスト（石綿）についてのご注意

 警告	
アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。 	

 警告	
十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。 	
アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。	

電波に関するご注意

- ・ 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
- ・ 本製品は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解／改造すること。
 - ・ 内蔵している無線モジュールに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- ・ 次の場所では使用しないでください。
 - ・ 医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
 - ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください（ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、ペースメーカー、その他医用機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など）。
 - ・ 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。使用禁止場所で使用しないでください。
- ・ すべての環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたりすることがあります。
 - ・ コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
 - ・ 障害物の近くへの設置
 - ・ 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
 - ・ 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

各社の商標または登録商標

電波法に基づく認証について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。

従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解／改造すること。
- ・ 本製品に貼ってあるラベルの適合マークおよび認証番号を消すこと。



Bluetooth について

- ・ Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- ・ Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありマキタはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- ・ Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、ほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- ・ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ 本製品はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

商標について

- ・ Android および Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・ App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- ・ その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™ や ® マークは一部記載していません。

ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。

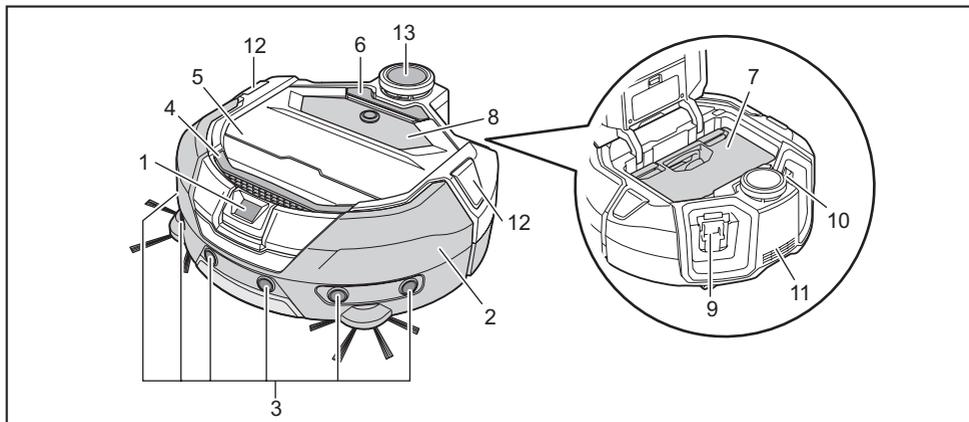
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、下記サイトにて開示しています。また、ライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードも下記サイトにて公開しています。

<https://oss.makita.biz/index.html>

- ・ ソースコードの内容などについてのご質問は、ご遠慮ください。
- ・ 当該ソフトウェア自体に何らの保証もありませんが、本製品の不具合（当該ソフトウェアに起因する不具合も含みます）に関する当社の保証範囲に影響はありません。

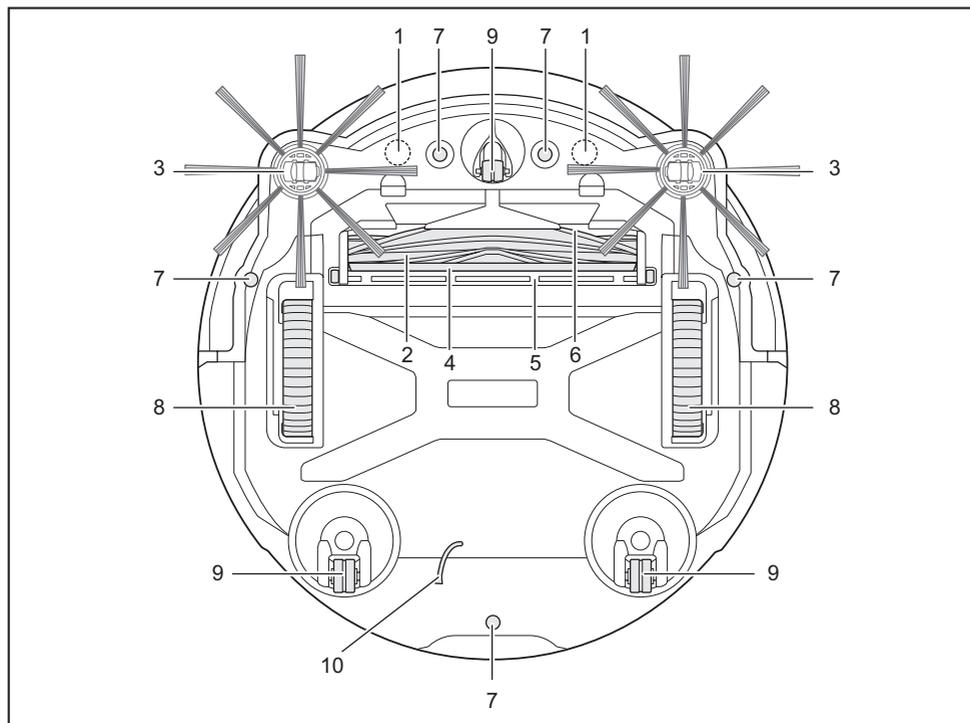
各部の名称

本体（上面・側面・内部）



1. カメラセンサ
2. バンパー
3. 超音波センサ
4. 持ち運び用ハンドル（20 ページ参照）
5. ふた
6. ふた開ボタン
7. ダストボックス（25 ページ参照）
8. 操作パネル（ディスプレイ）（15 ページ参照）
9. 左バッテリー挿入口
10. 右バッテリー挿入口
11. 排気口
12. ポジション LED
13. LiDAR センサ

本体（下面）

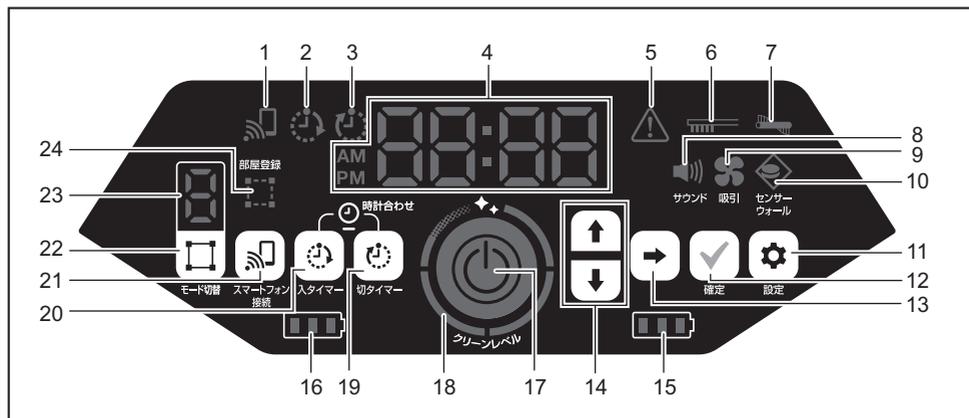


1. センサーウォールのセンサ（内蔵）
2. 回転ブラシ
3. サイドブラシ
4. ボトムブラシ
5. 回転ブラシカバー
6. 吸引口
7. 段差センサ
8. 駆動車輪
9. キャスター
10. アースライン

注

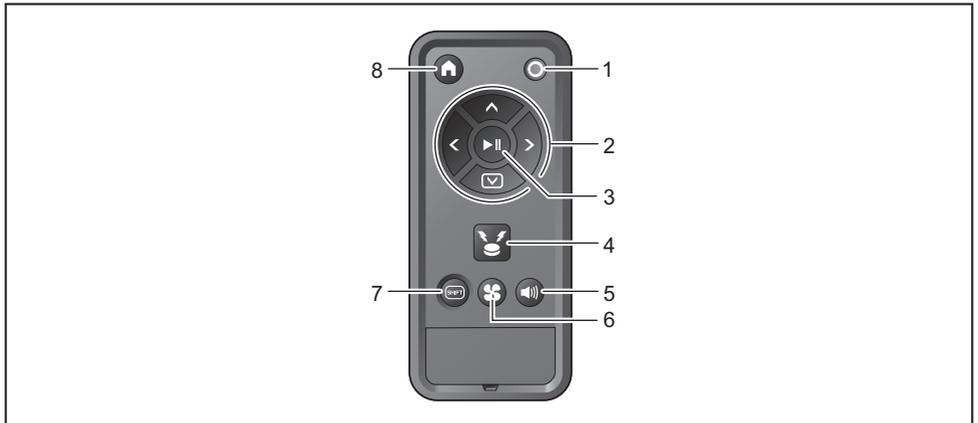
アースラインはセンサの帯電を軽減します。誤ってアースラインを引っ張る、切るなどしないでください。

本体（操作パネル（ディスプレイ））



1. スマートフォン接続ランプ（緑）（58 ページ参照）
2. 入タイマーランプ（緑）（34 ページ参照）
3. 切タイマーランプ（緑）（35 ページ参照）
4. 時刻表示部（緑）
5. エラーランプ（赤）（48 ページ参照）
6. フィルタお手入れランプ（赤）（49 ページ参照）
7. ブラシエラーランプ（赤）（49 ページ参照）
8. サウンドランプ（緑）（40 ページ参照）
9. 吸引ファンランプ（緑）（32 ページ参照）
10. センサーウォールランプ（緑）（36 ページ参照）
11. 設定ボタン（32 ページ参照）
12. 確定ボタン（31 ページ参照）
13. 次ボタン（32 ページ参照）
14. 上ボタン、下ボタン（32 ページ参照）
15. 右バッテリー残容量ランプ（緑）（28 ページ参照）
16. 左バッテリー残容量ランプ（緑）（28 ページ参照）
17. スタート/ストップボタン（27 ページ参照）
18. クリーンレベルランプ（白）（31 ページ参照）
19. 切タイマーボタン（34 ページ参照）
20. 入タイマーボタン（33 ページ参照）
21. スマートフォン接続ボタン（58 ページ参照）
22. モード切替ボタン（29 ページ参照）
23. モード/部屋番号表示（29 ページ参照）
24. 部屋登録ランプ（緑）（30 ページ参照）

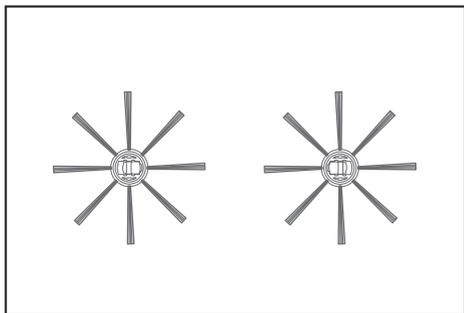
リモコン



1. 電源切ボタン
2. 操作ボタン
3. スタート/ストップボタン
4. 位置おしらせセンサー/ライトボタン
5. サウンド入/切ボタン
6. 吸引入/切ボタン
7. シフトボタン
8. スタート地点ボタン

標準付属品

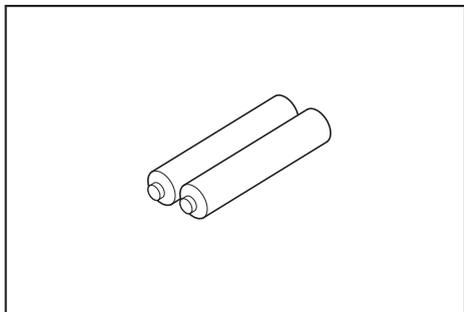
- ・ サイドブラシ (4 個)
2 個は交換用です。2 個をロボットクリーナに取り付けてください (25 ページ参照)。



- ・ リモコン

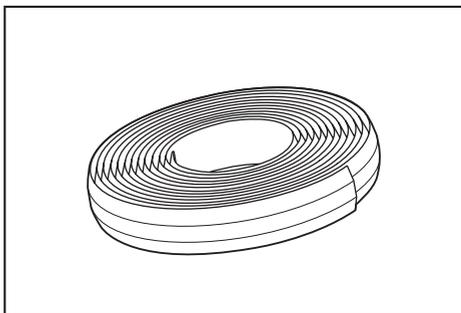


- ・ 単 4 形乾電池 (2 本)
リモコンに取り付けてください (26 ページ参照)。

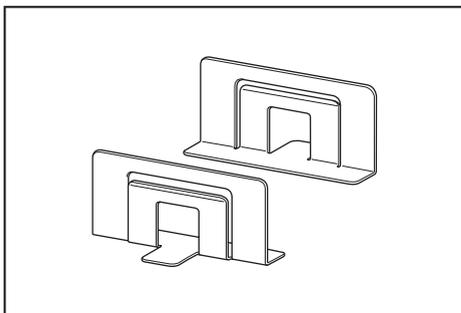


別販売品のご紹介

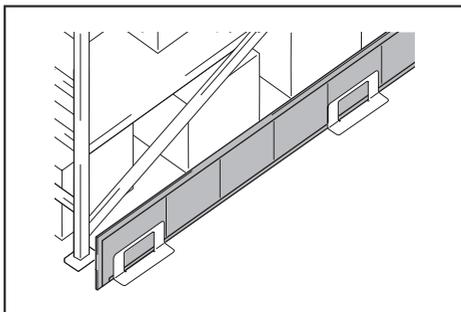
- ・ センサーウォールシート
部品番号 : A-72774



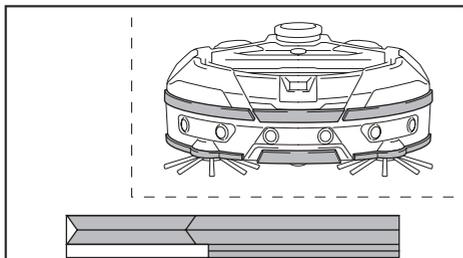
- ・ フェンススタンド (2 個)
部品番号 : A-73031



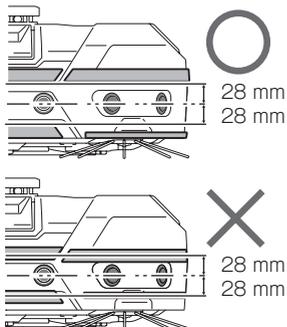
- ・ フェンスボード
部品番号 : A-73047



- バンパクション
部品番号：A-73053
バンパ部分に取り付けて衝撃を吸収する、キズ付け防止用のクッションです。

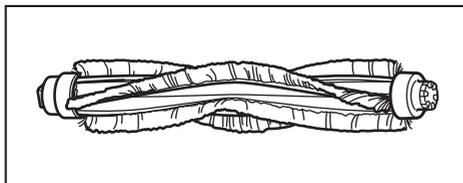


注: センサから上下に28 mm 以上離して貼り付け。

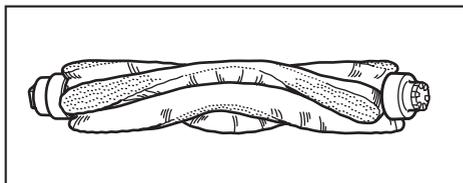


超音波センサの近くにバンパクションを貼り付けると超音波センサがバンパクションを障害物と認識し、走行スピードが遅くなってしまいう可能性があります。

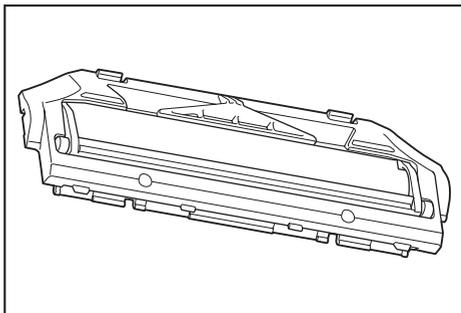
- 回転ブラシ
部品番号：A-72796



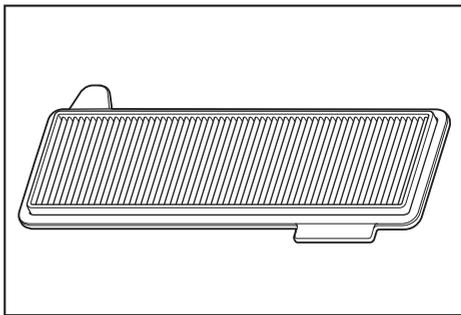
- ソフト回転ブラシ
部品番号：A-72780
通常のブラシより柔らかいブラシで量でも使用可能です。



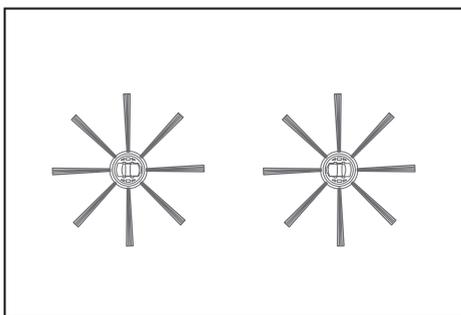
- 回転ブラシカバー
部品番号：A-72805



- HEPA フィルタ
部品番号：A-72833



- サイドブラシ (2個)
部品番号：A-72827
- ソフトサイドブラシ (2個)
部品番号：A-72811
通常のブラシより柔らかいブラシで量でも使用可能です。



- バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号：A-60311
- バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah)
部品番号：A-61715
- バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号：A-60442
- バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah)
部品番号：A-59900
- バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号：A-60464

バッテリー（別販売品）

バッテリーについてのご注意

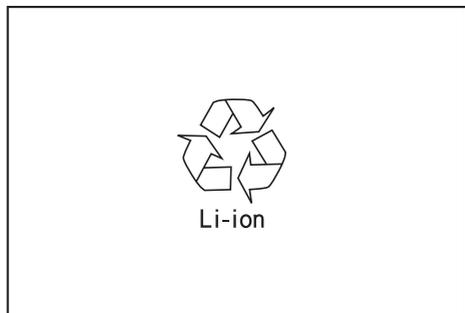
- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときはロボットクリーナまたは充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ ロボットクリーナの力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

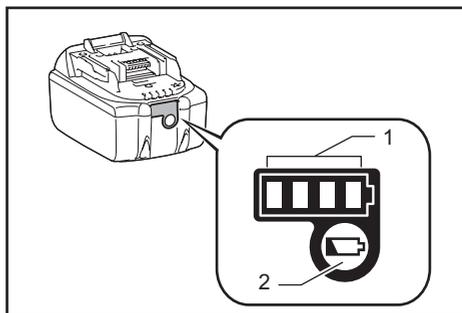
使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



- ▶ リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

バッテリー残容量表示の見方

- ・ モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



- ▶ 1. バッテリー表示ランプ 2. チェックボタン

バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ : 点灯	バッテリー残容量
▒ : 点滅	
□ : 消灯	
■ ■ ■ ■	75% ~ 100%
■ ■ ■ □	50% ~ 75%
■ ■ □ □	25% ~ 50%
■ □ □ □	0% ~ 25%
▒ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

お掃除の前に

ロボットクリーナの持ち運びについて

⚠注意

ロボットクリーナを運ぶときは、運転を停止させてから電源を切り、手をはさまないように持ち運び用ハンドルをしっかりと持ってください。

- ・ハンドルに手をはさむ原因になります。

足場が安定しないところでロボットクリーナを持ち上げないでください。

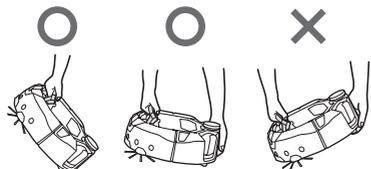
- ・けがや故障の原因になります。

ロボットクリーナを不用意に持ち上げないでください。

- ・けがや故障の原因になります。

ロボットクリーナの前面を下に向けて持たないでください。

- ・吸引口からゴミがこぼれることがあります。

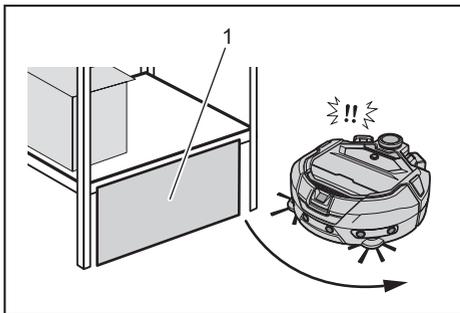


ロボットクリーナでの掃除について

- ・ロボットクリーナはLiDARセンサと超音波センサで障害物を検知し、障害物を避けながら走行します。サイドブラシと回転ブラシでゴミを集めて吸い込みます。条件により、障害物を認識できない場合があります。障害物に当たった場合はバンパーで障害物との接触を検知し回避します。
- ・ロボットクリーナは約2.0 cm までの段差を乗り越えることができます。約2.0 cm 以下でも、段差の形状など条件により乗り越えられない場合があります。
- ・スロープや段差のある場所では、ロボットクリーナの底面が引っかかってタイヤが浮き、エラーで停止することがあります。何度も停止する場合は、その場所に入らないようにしてください(35 ページ参照)。
- ・壁際に障害物がある場合、ロボットクリーナが障害物を避けようとして、壁際に乗り上げてしまうことがあります。

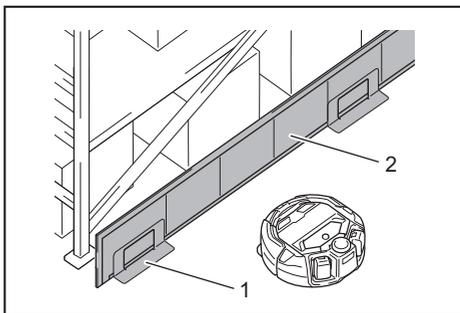
- ・LiDARセンサは下記条件で障害物を認識できず、うまくマッピングできなかったり、接触する場合があります。
 - 鏡のように反射率が高い障害物
 - ガラスのように透明度が高い障害物
 - 黒色かつ光沢のある素材の障害物
 - 椅子や机の脚などの細い形状

- ・ロボットクリーナの高さより狭いすき間に入ると、はさまって動けなくなる場合があります。その場合は、つい立てなどを設置してください。



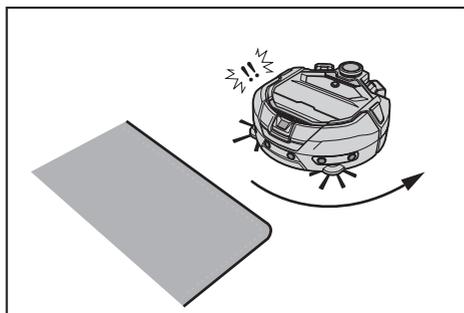
- ▶ 1. つい立てなどですき間をかくす

- ・フェンススタンド(別販売品)とフェンスボード(別販売品)を設置して壁を作ることで、掃除範囲を制限することができます。



- ▶ 1. フェンススタンド 2. フェンスボード

- ・ 黒色の床面やガラスなどの透明な床面、フローリングの木目の黒い部分は、ロボットクリーナーが段差と判断して、避ける動きをすることがあります。

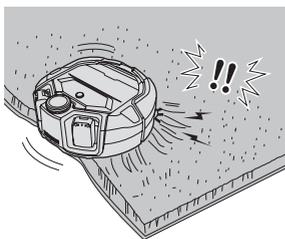


- ・ ロボットクリーナーが乗り越えられる段差付近、ロボットクリーナーが入れない奥まった場所や狭い場所、サイドブラシが届かない場所はゴミを吸えない場合があります。
- ・ 小石など、小さくてかたいものを運転中に飛ばす恐れがあります。

⚠️ 注意

次の場所では使用しないでください。

- ・ 毛足の長さが7 mmを超えるじゅうたん、毛の抜けやすい敷物や段差のある敷物などで使用しないでください。
これらの敷物では運転が停止したり、毛足がサイドブラシにからみついたり、敷物やサイドブラシを傷めたりする恐れがあります。また、上記以外の敷物でもロボットクリーナーがうまく走行できない場合は、その敷物での使用を控えてください。



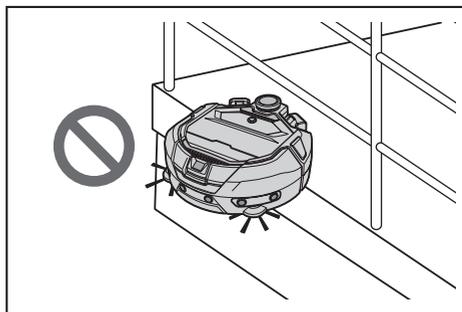
- ・ ふとん、毛布、座布団などで使用しないでください。
- ・ 水回り、トイレ、風呂場、屋根裏、屋外などで使用しないでください。
- ・ 濡れた場所、また濡れる恐れがある場所や高温多湿の場所で使用しないでください。

ロボットクリーナーの落下を防ぐために

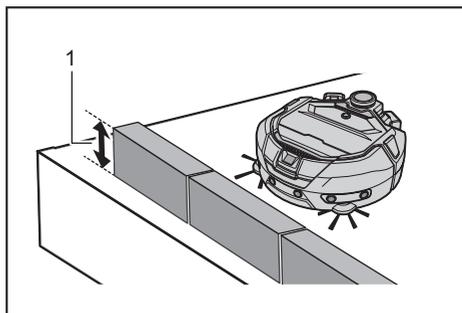
⚠️ 警告

ロボットクリーナーが落下しないようにしてください。

- ・ ロボットクリーナーが落下した場合は、破損やけがの原因になります。
- ・ 中2階やロフト、吹き抜け、囲いのない高所、10°以上のスロープのある場所で使用しないでください。

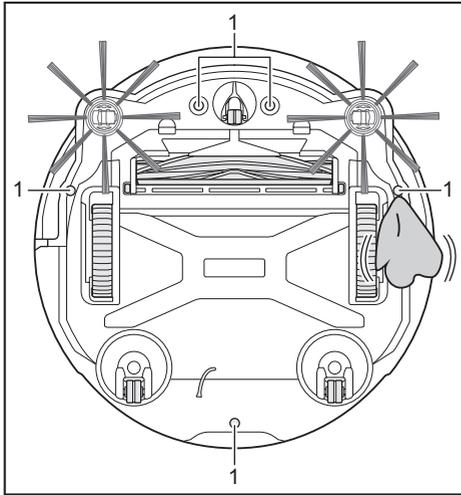


- ・ 落下によって事故などが発生する可能性のある場所には、高さ25 cm以上の壁になるもの（ロボットクリーナーが当たっても移動や転倒しないもの）を設置してください。



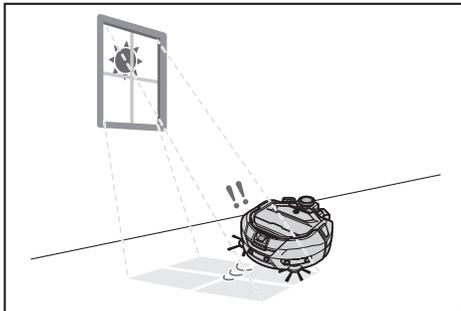
- ▶ 1. 高さ25 cm以上

- ・ ロボットクリーナー裏側にある段差センサに汚れや結露などによる水滴が付着しているときは、乾いた柔らかい布や綿棒などで拭いてください。

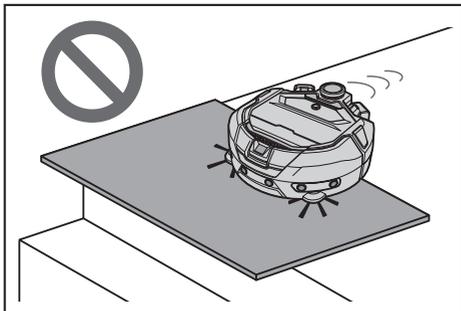


▶ 1. 段差センサ (5 か所)

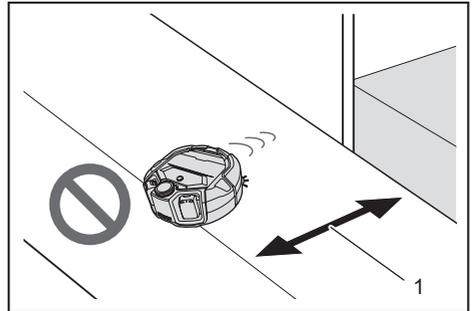
- ・ 日光や他の機器の赤外線がロボットクリーナーに当たると、正しく動作しない場合があります。ハコゲンヒーターやリモコン、センサなどの赤外線、すりガラスから入る日光などがロボットクリーナーに当たらないようにしてください。



- ・ 段差付近に敷物や板などがある状態で使用しないでください。段差に敷物や板などが被さっていると、段差センサが正しく段差を認識しない恐れがあります。

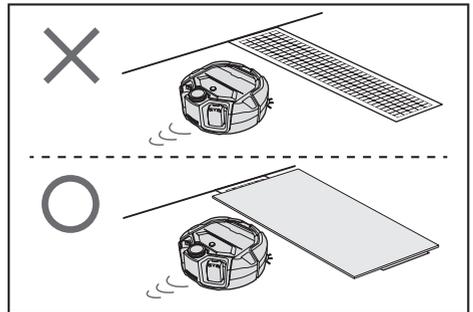


- ・ 壁から段差までの距離が約 1 m 以下の場所は後退しながら、落下する場合があります。壁から段差までの距離が約 1 m 以下で使用しないでください。



▶ 1. 約 1 m 以下

- ・ 排水溝のふた（グレーチング）のある場所は段差センサが段差と認識し、走行できない場合があります。走行させたい場合は、板などでグレーチングを覆ってください。



- ・ 約 3.0 cm 以下の段差は段差センサが段差と認識せずに、直進しながら降りる場合があります。段差が約 2.0 cm から約 3.0 cm 以下のとき、ご使用はお控えください。
- ・ アルミサッシのレールの段差は段差センサが段差と認識しない場合がありますので、アルミサッシは閉めてください。
- ・ ガラスなどの割れる恐れがある床面上でのご使用はお控えください。

掃除場所の整理

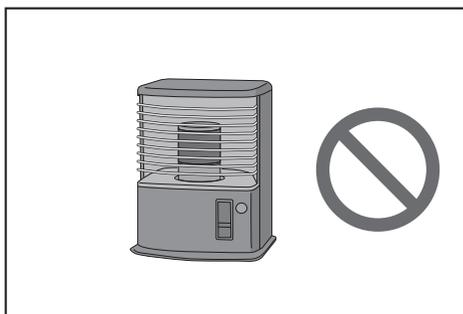
警告

ロボットクリーナーが接触して破損や事故を招く恐れのあるものは移動させてください。

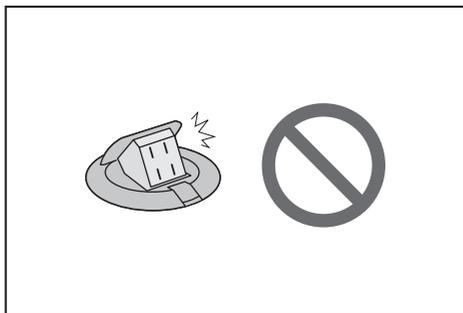
吸い込まれると困るもの、ロボットクリーナーの移動を妨げるもの、回転ブラシや車輪、サイドブラシに巻き込まれやすいものは片付けてください。

- ・ 清掃時にロボットクリーナーの妨げになるものを放置しておくと、事故やけがの原因になります。

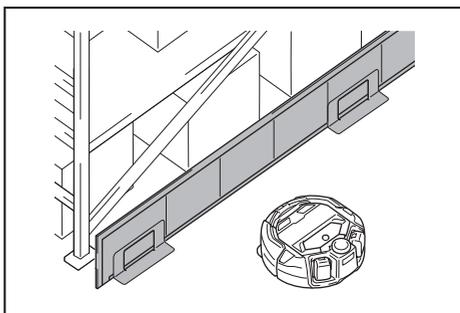
- ・ 暖房器具（ストーブ）など高温になるものの周辺で使用しないでください。事故や発火、故障の原因になります（運転中は暖房器具を使用しないでください）。



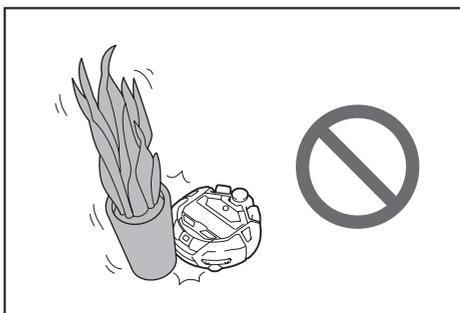
- ・ 収納式のコンセントを使っている場所で使用しないでください。収納式のコンセントは必ず収納してください。



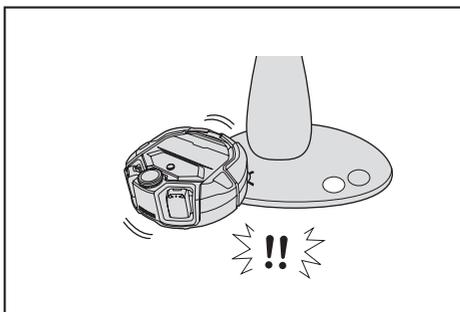
- ・ キズ付きやすい材質でできた壁など（例：土壁や障子、ふすま、屏風など）は、キズ付けないように壁代わりになるものを前に置いてください。



- ・ 不安定なものや倒れやすいものを置いたまま使用しないでください。不安定なものや倒れやすいものは別の部屋に移動してください。

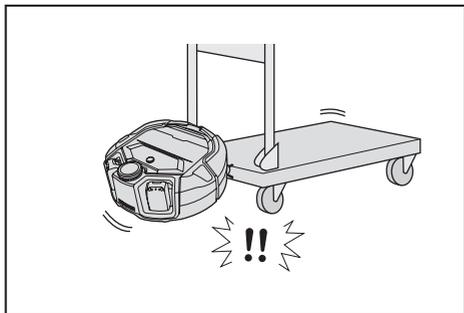


- ・ ロボットクリーナーと同じ高さには操作部がある設備や機器は移動してください。

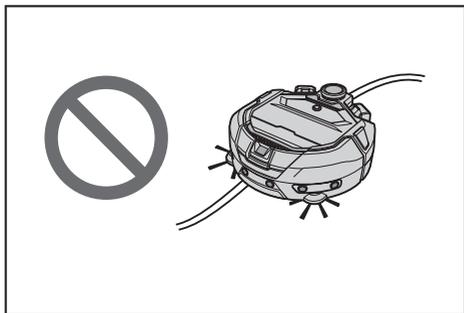


- ・ 火のついたろうそくや壊れやすいものは片付けてください。

- ・ 台車や車椅子などキャスター付きのものや、動きやすい軽い椅子などはキャスターをロックするか片付けてください。

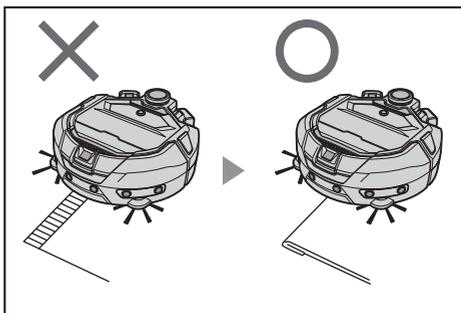


- ・ 巻き込みそうなコード類を放置した状態で使用しないでください。
電源コードはロボットクリーナーが引っかからないように壁際に沿わせてください。

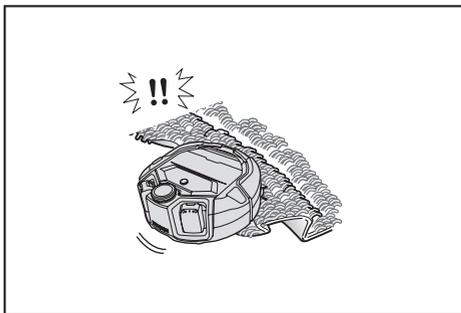


- ・ ひもやベルトなど細長いものは片付けてください。
- ・ 吸い込まれやすい小物や高価なものは片付けてください。
- ・ 作業台や椅子、工具、板など、走行を妨げるものは片付けてください。
- ・ 動物などの排泄物や液体は吸い込むと故障の原因になります。片付けてください。

- ・ マットなどの飾り房は中に折り込んでください。



- ・ カーテンなどの床に垂れ下がった部分は上げてください。回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。
- ・ マットやじゅうたんなど、薄くて滑りやすい敷物は片付けてください。敷物やサイドブラシを傷める場合があります。



- ・ 薄い紙や布、ビニール袋などは片付けてください。
- ・ 屋外に通じる場所ではロボットクリーナーが屋外に出ないように、扉を閉めてください。扉を閉められない場合は、使用しないでください。また、ロボットクリーナーを入れたくない部屋の扉も閉めてください。
- ・ 滑りやすい床面だと正しく走行できない恐れがありますので、ご使用前に確認してください。
- ・ 清掃する通路は 80 cm 以上あけてください。

ご使用の準備

サイドブラシを取り付ける

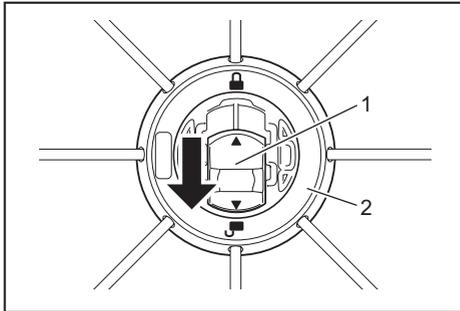
⚠警告

サイドブラシを取り付けるときは、ロボットクリーナからバッテリーが取りはずされていることを確認してください。

- ・ロボットクリーナにバッテリーを差したまま行くと、感電やけがの原因になります。

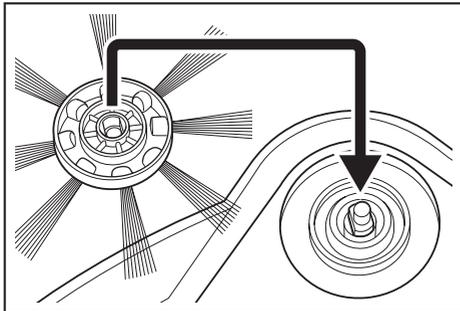
サイドブラシを取り付けるときは、ロボットクリーナや床面にキズが付かないよう、マットなどを敷いてください。

1. ロボットクリーナを裏返します。
2. サイドブラシのロックレバーを  (解除マーク) へずらします。

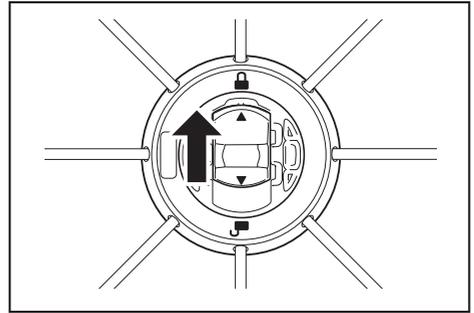


▶ 1. ロックレバー 2. サイドブラシ

3. ロボットクリーナ裏側の軸と、サイドブラシの穴の形が合うように、サイドブラシを取り付けます。



4. サイドブラシのロックレバーを  (固定マーク) へ、カチッと音がするまで押し込みます (イラストの位置までしっかりと押し込んでください)。
 - ・取り付け後、サイドブラシを軽く持ち上げて、ロボットクリーナからはずれないことを確認してください。
 - ・サイドブラシは左右2個取り付けてください。



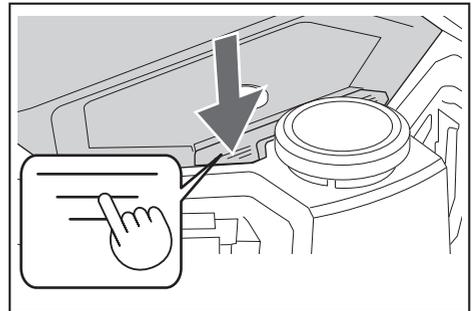
ダストボックスを開梱する

⚠警告

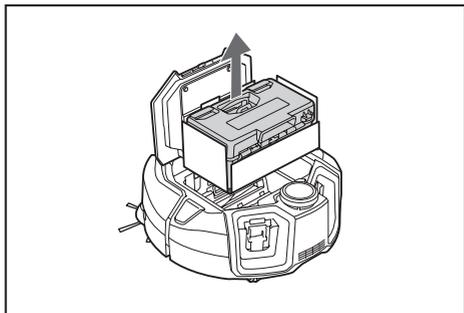
ロボットクリーナのふたを開けるときは、ロボットクリーナからバッテリーが取りはずされていることを確認してください。

- ・ロボットクリーナにバッテリーを差したまま行くと、感電やけがの原因になります。

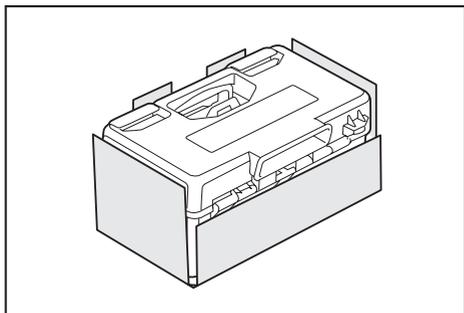
1. ふた開ボタン () を押すとふたが開きます。ふたが勢いよく開くのでご注意ください。



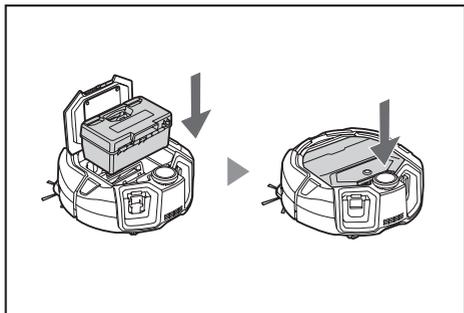
2. ダストボックスを取り出します。



3. 梱包材を取りはずします。

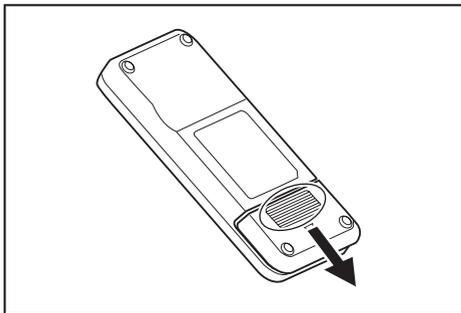


4. ダストボックスをロボットクリーナに戻し、カチッと音がするまでふたを閉めます。閉めるときは指はさまないようにご注意ください。

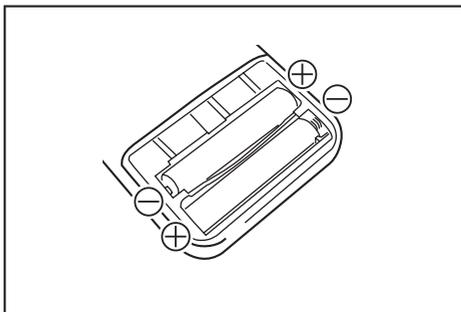


リモコンに電池を入れる

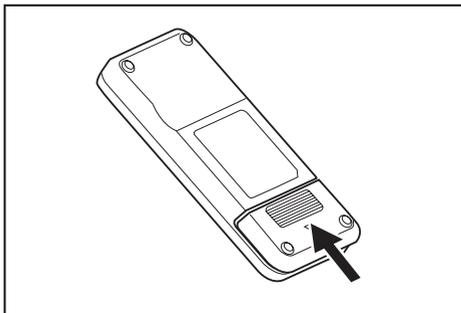
1. リモコンのふたのを押しながら、矢印の方にスライドさせはずします。



2. 向きを確認して電池を入れます。



3. ふたを取り付けます。



注

- ・ 電池は＋極と－極を正しい向きで入れてください。
- ・ 電池は単 4 形乾電池が 2 本必要です。2 本とも同じ種類の新しい電池を入れてください。
- ・ 液漏れや破裂による故障防止のために、長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- ・ 電池の溶液が目に入った時、肌や衣服に付いたりしたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ・ リモコンに衝撃を与えたり水に濡らしたりしないでください。また、直射日光の当たる場所やストーブなどの近くには置かないでください。故障の原因となります。

バッテリー（別販売品）を取り付ける／取りはずす

- ・ バッテリーは1個だけ装着した状態でも動作します。
- ・ バッテリーを2個装着すると長時間運転が可能です。

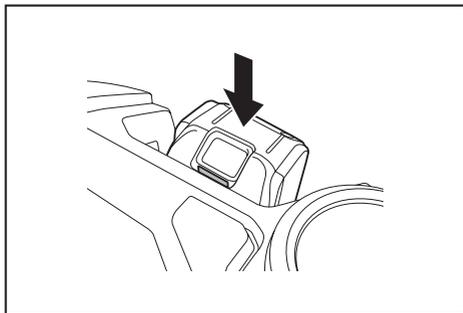
取り付け方

⚠ 警告

バッテリーは奥まで確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故や故障の原因になります。

バッテリーをロボットクリーナの溝に合わせ、奥まで確実に差し込みます。バッテリーが完全にロックされるとカチッと音がします。



注

バッテリーを取り付ける際は、ロボットクリーナとバッテリーのあいだで指をはさまないように注意してください。

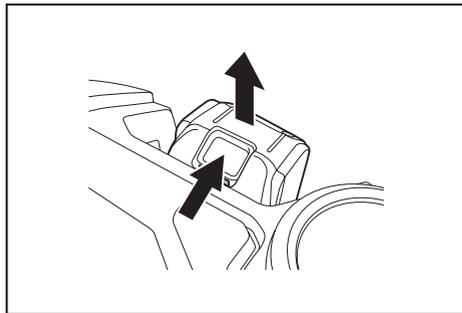
取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーを取りはずすときは、ロボットクリーナの電源が切れていることを必ず確認してください。ロボットクリーナがスタンバイ状態（27 ページ参照）のときにバッテリーを取りはずさないでください。

- ・ 電源を入れたままバッテリーをはずすと、故障の原因になります。

バッテリーのボタンを操作しながら、バッテリーを持ち上げます。

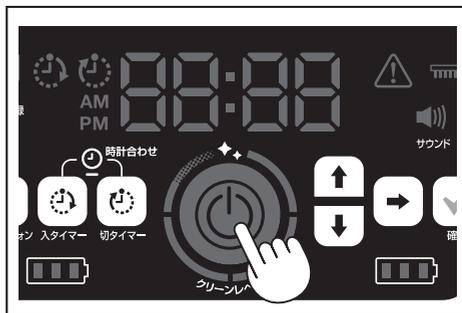


電源を入れる／切る

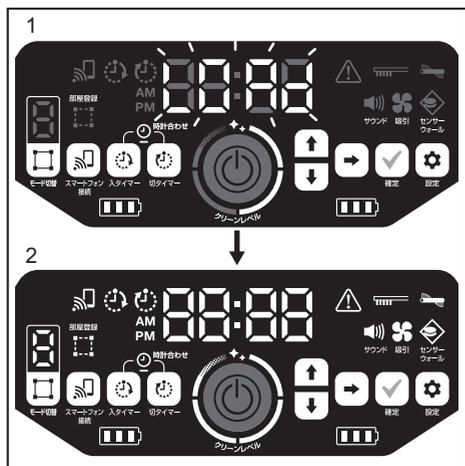
- ・ 電源を入れると、ロボットクリーナはスタンバイ状態になります。スタンバイ状態で掃除や設定変更、アプリとの接続ができます。
- ・ スタンバイ状態でロボットクリーナ、リモコンまたはアプリによる操作が約30分実施されない場合、ロボットクリーナの電源が切れます（ただし、上記状態でもスマートフォン接続ランプ点灯時は電源が切れません）。
- ・ 作業終了時や保管時は、電源を切ってください。
- ・ ロボットクリーナがスリープ状態のときは、アプリでの通信はできません。
- ・ ロボットクリーナの電源が切れているときは、リモコンやアプリで操作することはできません。

電源の入れ方

1. ロボットクリーナの電源が切れている状態で、ロボットクリーナのスタート／ストップボタンを押します。



- 時刻が表示されるまで操作せずにお待ちください。初めて使用する場合は、まず時刻設定が必要です。時刻を設定してください（39 ページ参照）。

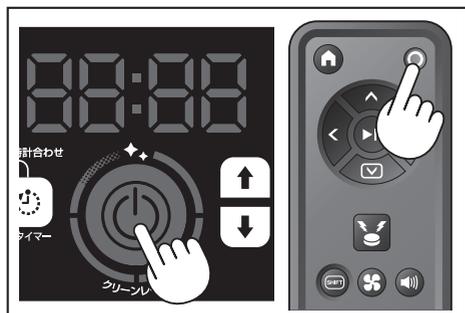


- 時刻表示部に [LOAD] が点滅し、4つのクリーンレベルランプが時計回りに点灯および消灯します。起動の進捗に合わせてランプの切り替わり速度が速くなります。
- すべてのランプが点灯した後に、ロボットクリーナの起動は完了します（スタンバイ状態）。

電源の切り方

ロボットクリーナのスタート/ストップボタンを長押しします。または、リモコンの電源切ボタンを押します。電源が完全に切れると、ロボットクリーナの表示部やランプが消灯するのでバッテリーを抜かずにお待ちください。

作業終了時や保管時は、電源を切り、バッテリーをはずしてください。



注

完全に電源が切れる前（表示やランプが消える前）に、バッテリーを抜かないでください。保存したマップ情報や掃除の履歴が消える恐れがあります。

ロボットクリーナのバッテリー残容量ランプの見方

バッテリー残容量ランプの状態	バッテリーの残容量
	約 60 % 以上
	約 20 ~ 60 %
	約 20 % 未満
	残量なし バッテリー未装着

残容量は目安であり、使用条件や室温、バッテリーの種類や消耗状態により異なる場合があります。

掃除の前に設定しておくこと

掃除の前に、必要に応じてロボットクリーナの設定をしてください。

吸引ファンのオン/オフを切り替える

目に見える大きなゴミだけを掃除する場合は、吸引ファンをオフにすることで運転時間を長くすることができます。吸引ファンのオン/オフを切り替えるには、32 ページを参照してください。

サウンドのオン/オフを切り替える

ロボットクリーナのサウンドをオフに設定すると、サウンドを鳴らさずに掃除します（40 ページ参照）。

センサーウォール機能を設定する

センサーウォール機能をオンにすると、ロボットクリーナは床面に設置したセンサーウォールシートを認識します。センサーウォールシートが境界線となり、センサーウォールシートより先には進入しなくなるため、走行エリアを制限することができます。センサーウォール機能を設定するには、35 ページを参照してください。

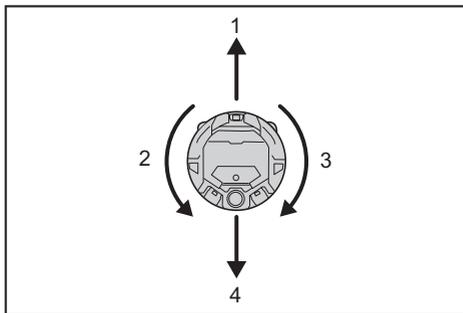
使い方

掃除をする

- ・ ロボットクリーナの清掃モードは3つあります。
 - 手動の清掃 (リモコン操作)
 - フリー清掃モード
 - マッピング清掃モード
- ・ いろいろな部屋や、頻繁にレイアウトが大きく変わる環境で掃除をしたいときは、フリー清掃モードをおすすめします。
- ・ マッピング時に明るさが十分に取ることができない部屋はフリー清掃モードを使用してください。
- ・ ロボットクリーナはバッテリー残量が少なくなると、掃除を中断して、掃除を開始した地点に戻ります。

リモコンで部屋を掃除する

リモコンの操作ボタンを押して、ロボットクリーナを操作して掃除することができます。



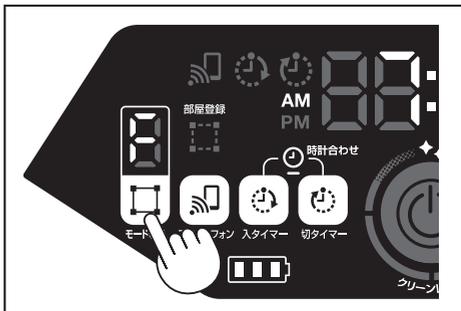
1. 前進：▲を押します。
2. 左回転：◀を押します。
3. 右回転：▶を押します。
4. 後退：◻を押しながら、▼を押します。

注

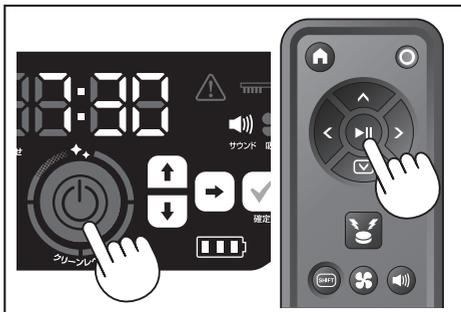
- ・ 狭い場所や段差があるところでは、ロボットクリーナを操作しないでください。
- ・ リモコンで操作するときは、衝突や落下しないように注意してください。
- ・ ロボットクリーナが前進中に障害物があると、回避しようと後進します。

マッピングをしないで部屋を掃除する (フリー清掃モード)

1. 掃除を開始したい場所の壁際にロボットクリーナを置きます。
2. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
3. モード切替ボタンを押して、[F] (フリー清掃モード) を選択します。
モード切替ボタンを押すたびに、表示は F、1、2、3、4、5、F… (数字は部屋番号) の順に変わります。



4. スタート/ストップボタンを押すとサウンドが鳴り掃除を開始します (サウンドがオンの設定のとき)。



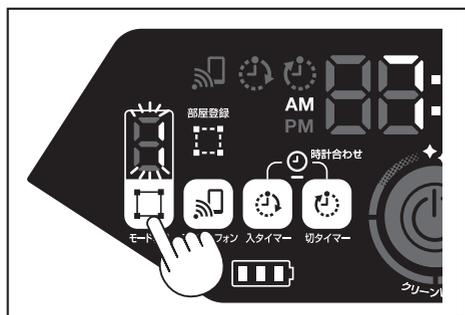
5. 掃除が終わったとロボットクリーナが判断すると、ロボットクリーナは掃除を開始した場所に戻ります。
 - ・ サウンドがオンに設定されているときは、掃除終了をサウンドでお知らせします (40 ページ参照)。
 - ・ ロボットクリーナは LiDAR センサとカメラセンサを使用して、自己位置を計算しています。カメラセンサを十分に機能させるため、部屋を明るくして掃除することをおすすめします。部屋が暗いと、掃除できない場所が発生したり、掃除を開始した場所に正確に戻れないことがあります。

マッピングをして部屋を掃除する

部屋情報登録する (マッピング)

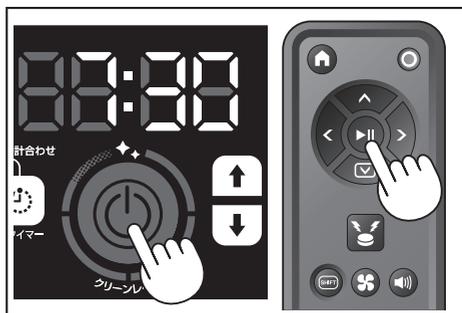
- ・ 掃除する部屋が決まっているときは、ロボットクリーナに部屋情報を登録 (マッピング情報の登録) すると、効率的に掃除をすることができます。また、マッピング後は、アプリから清掃結果の確認や侵入禁止エリアの設定ができるようになります。
- ・ 登録できる部屋数は5つです。
- ・ マッピング時は部屋を明るくしてください。
- ・ マッピング中はロボットクリーナから離れてください。
- ・ マッピング中はロボットクリーナを持ち上げないでください。
- ・ ロボットクリーナの半径約 11 m 以内に高さ 25 cm 以上の障害物がないと、マッピングができません。このようなときはフリー清掃モードをおすすめします (29 ページ参照)。

1. 掃除を開始したい場所にロボットクリーナを置きます。
 - ・ この開始位置は掃除するときの開始位置になります。
 - ・ 開始位置は位置が変わりにくい壁の近く、部屋の角などをおすすめします。
 - ・ 壁との距離は 30 cm ほど離してください。
2. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
3. モード切替ボタンを押して、マッピングしていない部屋番号を選択します。
 - ・ [F] はフリー清掃モードです (29 ページ参照)。
 - ・ マッピングしていない部屋番号は点滅表示となり、部屋登録ランプが点灯します。
 - ・ マッピング済みの部屋番号は点灯表示となり、部屋登録ランプは点灯しません。



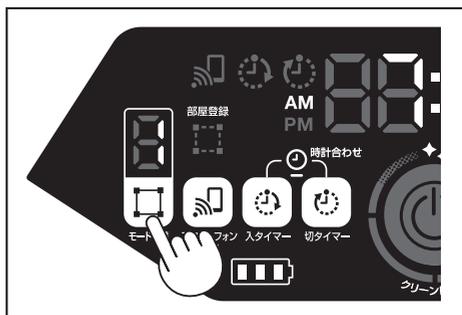
4. スタート/ストップボタンを押すと、ロボットクリーナがマッピングを開始します。マッピング後はマッピングを開始した場所 (掃除の開始地点) に戻り、部屋登録を完了します。
 - ・ マッピング終了後、ロボットクリーナはスタンバイ状態になります。スタンバイ状態になるまで時間がかかる場合がありますが、電源を切らずにお待ちください。

- ・ サウンドがオンに設定されているときは、マッピング終了をサウンドでお知らせします。
- ・ マップ作成がうまくいかない場合は、アプリを使用するのマニュアルマッピング機能の利用 (69 ページ参照) をおすすめします。

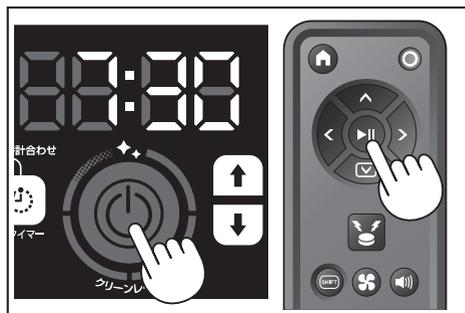


マッピングした部屋を掃除する

- ・ マッピング清掃モードは、マッピング済みの部屋をロボットクリーナが効率良く掃除するように動作します。
 - ・ マッピング清掃モードを使用するには、マッピング情報の登録が必要になります (30 ページ参照)。
1. マッピング作業開始地点にロボットクリーナを置きます。
 - ・ 可能な限り、マッピング作業開始時と同じ向きで置くと、よりスムーズに掃除を始めます。
 2. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
 3. モード切替ボタンを押して、マッピング済みの部屋番号を選択します。
 - ・ [F] はフリー清掃モードです (29 ページ参照)。
 - ・ マッピングしていない部屋番号は点滅表示となり、部屋登録ランプが点灯します。
 - ・ マッピング済みの部屋番号は点灯表示となり、部屋登録ランプは点灯しません。



4. スタート/ストップボタンを押すと、掃除を開始します。



5. 掃除が終わると、ロボットクリーナは掃除を開始した場所に戻ります。
- ・ロボットクリーナは部屋全体のうち、どの程度掃除できたかをクリーンレベルランプで表示します。
 - ・サウンドがオンに設定されているときは、掃除終了をサウンドでお知らせします (40 ページ参照)。
 - ・掃除対象エリアが広く、一度ですべて掃除できない場合は、[連続クリーニング] の設定をおすすめします (75 ページ参照)。

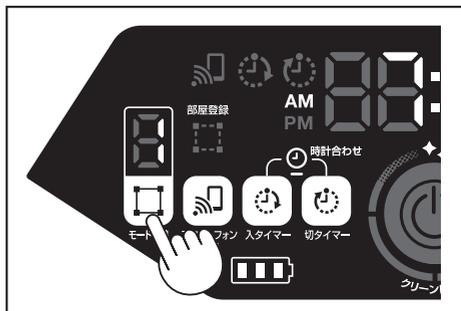
クリーンレベルランプの見方

マッピングした部屋の面積に対して、掃除が完了した範囲の割合をクリーンレベルランプでお知らせします。

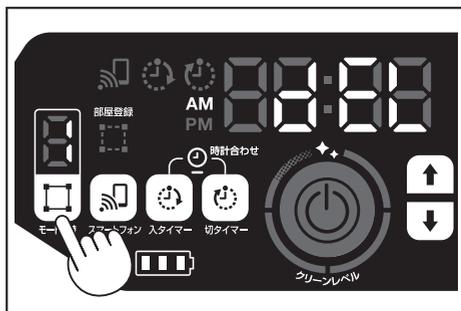
クリーンレベルランプの状態	掃除が完了した範囲の割合
	90% 以上
	75% ~ 90%
	50% ~ 75%
	25% ~ 50%

マッピング情報を削除する

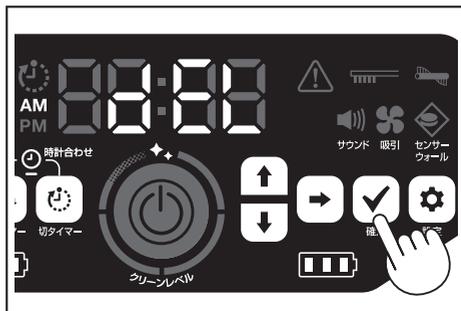
1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
2. モード切替ボタンを押して、マッピング情報を削除したい部屋の番号を選択します。
 - ・モード切替ボタンを押すたびに、部屋番号は F、1、2、3、4、5、F... の順に変わります ([F] はフリー清掃モードのため、マッピング情報の削除はできません)。
 - ・マッピングした部屋番号は点灯表示されます。



3. モード切替ボタンを長押しすると、時刻表示部に [dEL] が約 10 秒表示されます。



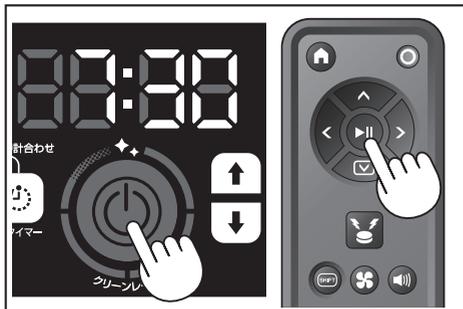
4. [dEL] が表示中に確定ボタンを押します。



- ・ [dEL] が表示中に確定ボタンを押さないと、ロボットクリーナはスタンバイ状態に戻ります。
- ・ マッピング情報が削除されると、選択した部屋番号は点滅し、未登録になります。

掃除を一時停止／終了する

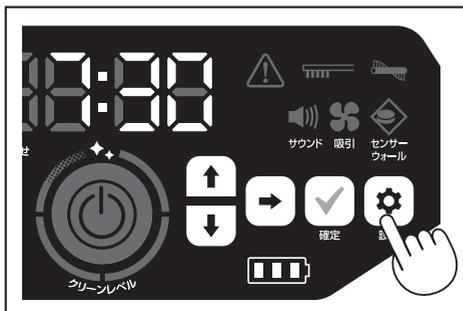
1. 運転中にスタート／ストップボタンを押すと、ロボットクリーナは一時停止状態になります。再度、スタート／ストップボタンを押すと、停止前と同じ運転モードで運転を再開します。



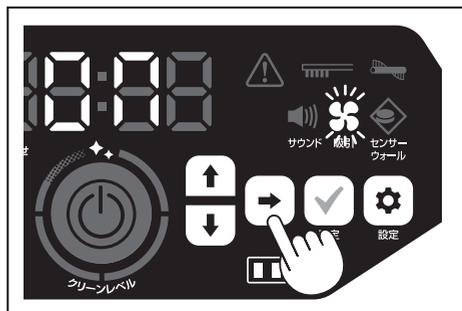
2. 掃除を途中で終了するには、ロボットクリーナが運転中または一時停止状態のとき、リモコンのスタート地点ボタンを押します。掃除を開始した場所に戻り、スタンバイ状態になります。
 - ・ すぐに掃除を終了したいときは、一時停止状態でモード切替ボタンを押すと、スタンバイ状態になります。
 - ・ スタート地点に戻さずに掃除を終了したときは、正しく清掃履歴が保存されない場合があります。

吸引ファンのオン／オフを切り替える

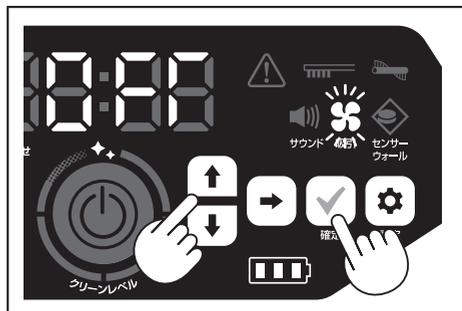
- ・ 目に見える大きなゴミだけを掃除する場合は、吸引ファンをオフにすることで運転時間を約2倍長くすることができます。
 - ・ リモコンやアプリからも吸引ファンの設定ができます (32、63 ページ参照)。
1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にして、設定ボタンを押して設定選択モードにします。



2. 次ボタンを押して、吸引ファンランプを点滅させます。



3. 上/下ボタンでオン/オフを切り替えることができます。オン/オフを選択したら、確定ボタンを押して設定を確定してください。
 - ・ オン：吸引ファンランプ点灯
 - ・ オフ：吸引ファンランプ消灯



注

吸引ファンがオフのときは、フィルタが目詰まりしていてもフィルタお手入れランプは点灯しません。

リモコンで吸引ファンのオン／オフを切り替える

ロボットクリーナをスタンバイ状態にして、リモコンの吸引入／切ボタンを押すと、オン／オフを切り替えることができます。また、リモコンで設定する場合は、清掃中でもオン／オフの切り替えができます。

位置おしらせ機能を使う

- ・ 広い場所や見えない場所に入り込むなどしてロボットクリーナが見つからないときに、ロボットクリーナがブザーとライトで位置をお知らせする機能です。
- ・ リモコンの位置おしらせブザー／ライトボタンを押すと、ブザー音が約 10 秒間鳴り、ポジション LED が点滅します。



- ・ 位置おしらせ機能を途中で止めるときは、もう一度位置おしらせブザー／ライトボタンを押します。

注

- ・ 次の場合は、位置おしらせ機能が使用できません。
 - ・ ロボットクリーナの電源が切れているとき
 - ・ バッテリー残容量がなくなったとき
 - ・ リモコンの電波が届かない位置にロボットクリーナがあるとき
 - ・ リモコンの電池が切れているとき
- ・ アプリからも位置おしらせ機能が使用できますが、事前にスマートフォンとロボットクリーナを接続しておく必要があります。ロボットクリーナがスリープ状態の場合、アプリからは使用できません。

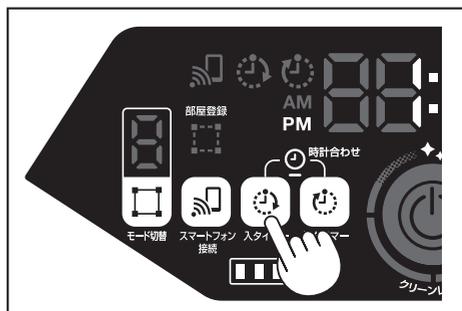
入タイマー／切タイマーを使う

入タイマーと切タイマーは同時使用可能です。

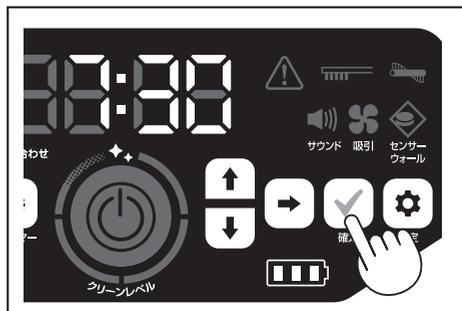
入タイマーをセットする

予約時間になると選択した掃除モードで掃除をスタートします。タイマーを設定する前に、時刻を設定してください (39 ページ参照)。

1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
2. 入タイマーボタンを長押しして入タイマー時間を設定変更します。
 - ・ 変更方法は時刻設定と同じです (39 ページ参照)。
 - ・ 入タイマー機能は 10 分単位で設定できます。

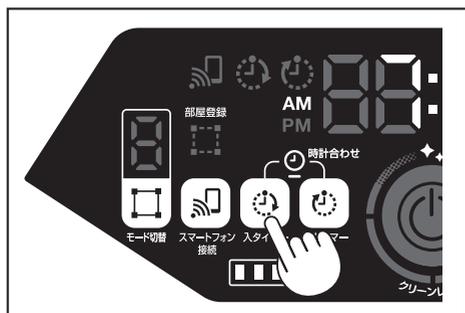


3. 確定ボタンを押して、時刻を確定します。

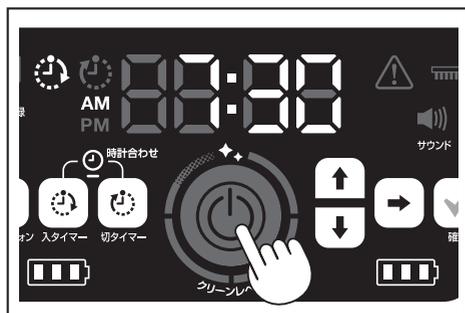


入タイマーを使う

1. 入タイマーボタンを押して、入タイマー機能を有効にします。
入タイマーランプが点灯し、設定時刻が2回点滅します。
入タイマー機能を無効にするには、再度入タイマーボタンを押して入タイマーランプを消灯してください。



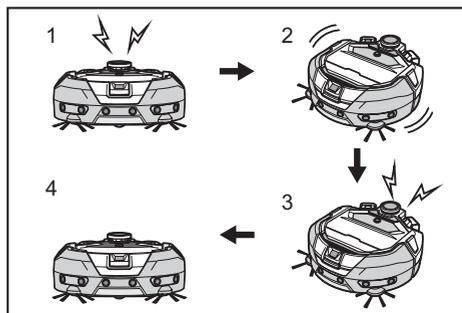
2. ロボットクリーナの運転モードを選択します (29、30 ページ参照)。
3. スタート/ストップボタンを押すと、入タイマー機能での掃除が予約されます (スリープ状態)。
入タイマー機能を解除するには、スタート/ストップボタンを再度押して、ロボットクリーナをスタンバイ状態にしてください。予約後、設定時間を確認するには、スタート/ストップボタン以外を押すと、設定時刻が3秒間点灯します。



注

- ・ 電源を切ったり、バッテリー残容量が完全になくなったりした場合は、予約内容は解除されます。
- ・ バッテリーが不足しているときは、入タイマー予約運転待ちにはできません。入タイマー予約運転をする際は、バッテリーを満充電にしておくことをおすすめします。
- ・ 電源が切れているときは、入タイマー予約運転ができません。
- ・ スリープ状態でも電力を消費するため、入タイマー使用時は使用しない場合と比べて多少運転時間が減少します。

使用例のイメージ：朝、自動で掃除をさせたい場合 (AM7:30 に入タイマーを設定、AM9:00 に切タイマーを設定)

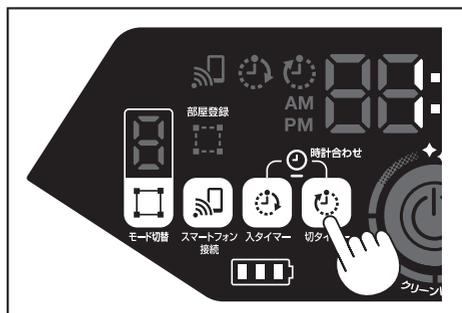


- ▶ 1. AM7:30 起動 (入タイマー) 2. 掃除
 3. AM9:00 掃除終了 (切タイマー) 4. スタート地点に戻る。
- ・ 時間/分の調整時、上/下ボタンを長押しすると、時間/分が速く変わります。
 - ・ タイマーの時間設定が完了しているときは、P.34「入タイマーを使う」のみ行ってください。

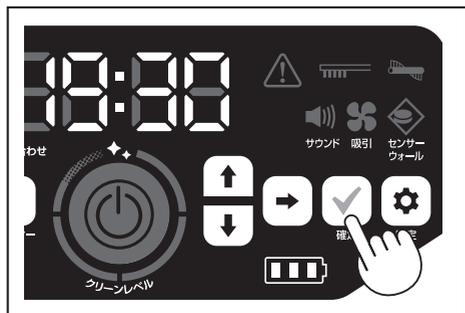
切タイマーをセットする

掃除開始後、予約時間になると掃除を終了し、スタート地点に戻ります。タイマーを設定する前に、時刻を設定してください (39 ページ参照)。

1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
2. 切タイマーボタンを長押しして切タイマー時間を設定変更します。
 - ・ 変更方法は時刻設定と同じです (39 ページ参照)。
 - ・ 切タイマー機能は 10 分単位で設定できます。



3. 確定ボタンを押して、時刻を確定します。



注

- ・ 電源を切ったり、バッテリー残容量が完全になくなったりした場合は、切タイマーの設定は無効になります。
- ・ バッテリー残容量が少ないときは、切タイマー設定時間よりも前に運転を停止する場合があります。
- ・ 掃除環境によっては開始位置に戻るまでに時間がかかることがあります。その場合は切タイマー時刻を早めに設定して調整してください。

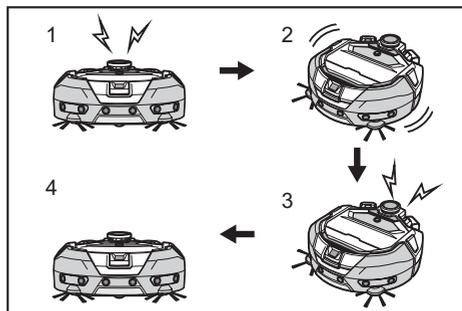
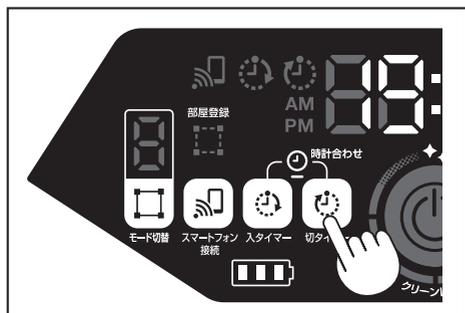
使用例のイメージ：夕方、自動で30分だけ掃除をさせたい場合（19:00に入タイマーを設定、19:30に切タイマーを設定）

切タイマーを使う

切タイマーボタンを押して、切タイマー機能を有効にします。

切タイマーランプが点灯し、設定時刻が2回点滅します。

- ・ すぐに掃除を開始して切タイマーを使う場合は、掃除モードを選択し、掃除を開始してください。
- ・ 入タイマーと併用して切タイマーを使う場合は、33ページを参照してください。
- ・ 切タイマーを解除するには、スタンバイ状態で切タイマーボタンを再度押して、切タイマー機能を無効にします。



▶ 1. 19:00 起動（入タイマー） 2. 掃除 3. 19:30 掃除終了（切タイマー） 4. スタート地点に戻る。

- ・ 時間/分の調整時、上/下ボタンを長押しすると、時間/分が速く変わります。
- ・ タイマーの時間設定が完了しているときは、P.35「切タイマーを使う」のみ行ってください。

掃除範囲を制限する

⚠ 警告

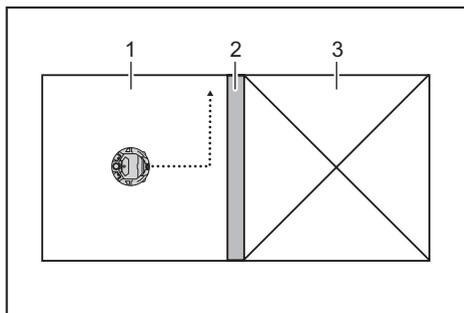
侵入や落下によって事故が発生する可能性がある場所との境界線として、センサーウォールシートを使用しないでください。

- ・ ロボットクリーナの侵入や落下による、事故やけがの原因になります。

ロボットクリーナの侵入や落下の可能性のある場所には、高さ25 cm以上の壁になるもの（ロボットクリーナが当たっても移動や転倒しないもの）を平面に設置してください。

- ・ センサーウォールシート（別販売品）を床面に設置して境界線を作ることで、掃除範囲を制限することができます。ロボットクリーナはセンサーウォールシートを検知して回避します。

- ・ 次のような場合に、ロボットクリーナの掃除範囲を設定します。

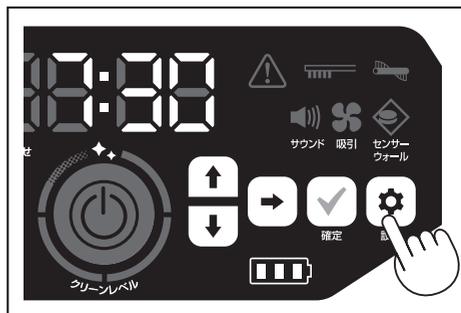


- ▶ **1. 掃除するエリア 2. センサーウォールシート 3. 走行させたくないエリア**

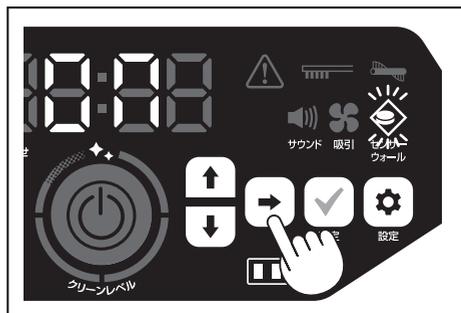
- ・ 一度に清掃できない広いスペースを複数に分けて清掃したいとき
- ・ ロボットクリーナが入ってほしくない場所があるとき
- ・ ロボットクリーナが入り込んで抜け出せなくなる場所があるとき
- ・ 低い段差を越えて落ちてしまうとき
- ・ 段差の途中で引っかかってしまうとき

1. 次のことに気を付けて、センサーウォールシートを設置します。
 - ・ 走行させたくないエリアから約 15 cm ほど離れた位置にセンサーウォールシートを設置してください。
 - ・ できるだけ平らな床面に、センサーウォールシートが浮かないように設置してください。ロボットクリーナがシートをずらしてしまい、シートを正しく認識しない原因になります。
 - ・ センサーウォールシートをくぼんだ面や段差などに設置すると、シートを正しく認識しない原因になります。
 - ・ センサーウォールシートは純正品であることを確認してください。純正品ではない場合、性能や安全性を保証できかねます。
 - ・ 床面によっては、床面が汚れる場合がありますので、十分に確認の上ご使用ください。
 - ・ 床面や使用環境によっては、センサーウォールのセンサが誤認識しやすい場所や、センサーウォールシートの汚れや破れが発生しやすい場合がありますので、十分に確認の上ご使用ください。

2. ロボットクリーナをスタンバイ状態にして、設定ボタンを押して設定選択モードにします。

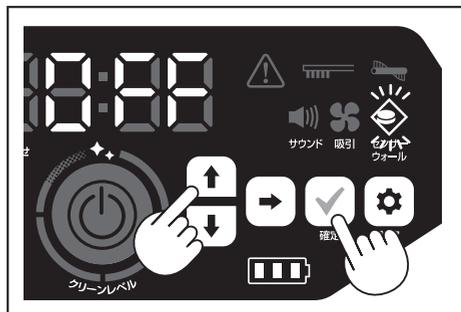


3. 次ボタンを押して、センサーウォールランプを点滅させます。



4. 上/下ボタンでオン/オフを切り替えることができます。オン/オフを選択したら、確定ボタンを押して設定を確定してください。

- ・ オン：センサーウォールランプ点灯
- ・ オフ：センサーウォールランプ消灯



注

- ・ センサーウォール機能は、センサーウォールシートを磁気センサで認識しています。センサーウォールシートに破れ、浮きなどがあるとき、シートを認識できない場合があります。
- ・ センサーウォールシートの破れ、設置のずれなどがないか定期的に確認してください。破れなどがあるときは、新しいものに交換してください。
- ・ 磁気が発生しているものの付近では、センサーウォール機能が働く場合があります。センサーウォール機能を働かせたくないときは、センサーウォール機能をお切りください。
- ・ 人やものが多く通るところは、センサーウォールシートが踏まれ、損傷します。シートが劣化したときは、新しいものを貼り直してください。
- ・ 床の材質によってセンサーウォールシートを検知する際にロボットクリーナが接触してシートをずらすことがあります。シートを床に貼り付け使用することをおすすめします。
- ・ センサーウォールシートはハサミで切って使用することもできます。

別販売品の取り付け／取りはずし／使い方

別販売品の取り付け方や取りはずし方、使い方は下記ページを参照してください。

別販売品	参照ページ	備考
センサーウォールシート	35	-
回転ブラシ ソフト回転ブラシ	44	取扱方法は、付属品の回転ブラシと同じです。
HEPA フィルタ	42	付属品の HEPA フィルタと同じです。
サイドブラシ ソフトサイドブラシ	44	取扱方法は、付属品のサイドブラシと同じです。
バッテリー	27	-
回転ブラシカバー	44	付属品の回転ブラシカバーと同じです。
フェンススタンド フェンスボード	20	-
バンパクション	18	-

ゴミの捨て方

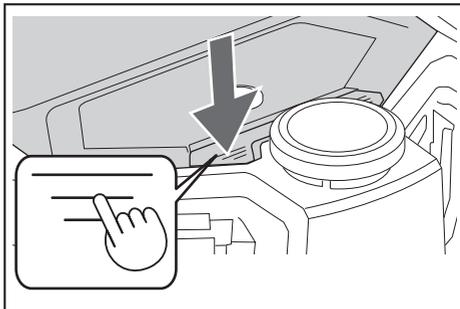
警告

ロボットクリーナのふたを開けるときは必ず電源を切り、ロボットクリーナからバッテリーを抜いてください。

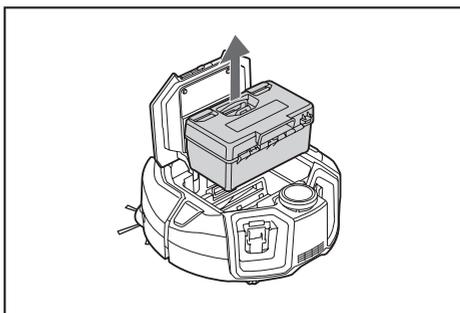
- ・ ロボットクリーナにバッテリーを差したまま行くと、感電やけがの原因になります。

1. ふた開ボタン()を押すとふたが開きます。

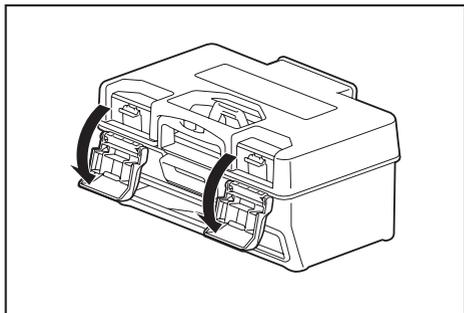
ふたが勢いよく開くのでご注意ください。



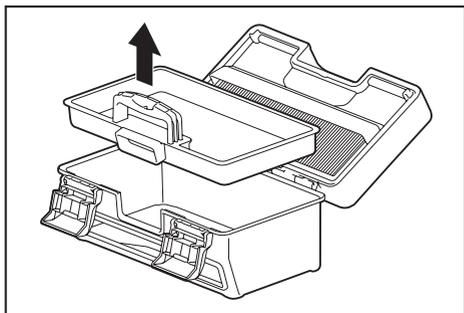
2. ダストボックスを取り出します。
ダストボックスの開口部を下に向けて持たないでください。開口部からゴミがこぼれることがあります。



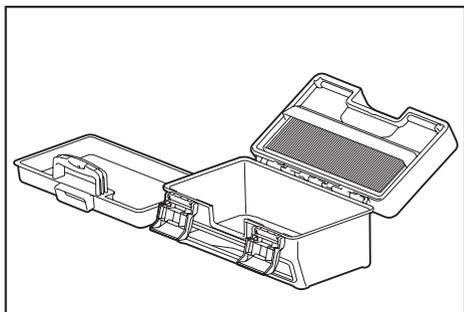
3. ロックを2か所解除し、ふたを開けます。



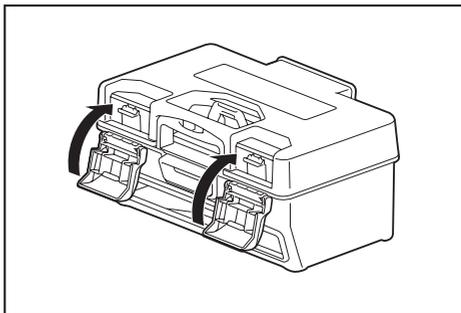
4. ダストケースを取り出します。
フィルタ側のふたを開けないようにご注意ください。



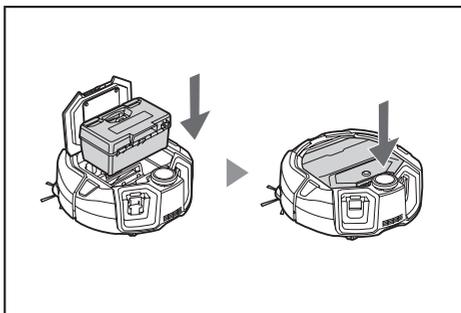
5. ダストケースとダストボックスのゴミを捨て、フィルタのゴミやほこりを取ります。
汚れがひどいときは、フィルタを取りはずして水洗いをしてください（42 ページ参照）。



6. ダストケースをダストボックスに戻し、ふたを閉め、2か所のロックを固定します。



7. ダストボックスをロボットクリーナに戻し、カチッと音がするまでふたを閉めます。
閉めるときは指をはさまないようにご注意ください。



注

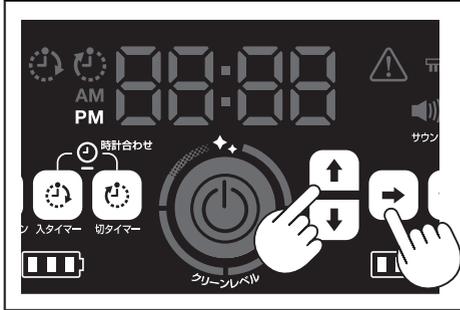
- ・ 掃除が終わったら、毎回ゴミを捨ててフィルタをお手入れしてください。ゴミを捨てずにそのまま掃除を続けると、フィルタが目詰まりして吸引力が弱くなります。
- ・ ダストボックス、フィルタは正しく取り付けてください。

ロボットクリーナの設定

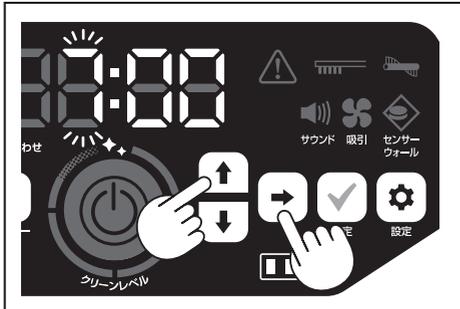
時刻を設定する

初めて使用する際は、時刻設定から始まります。

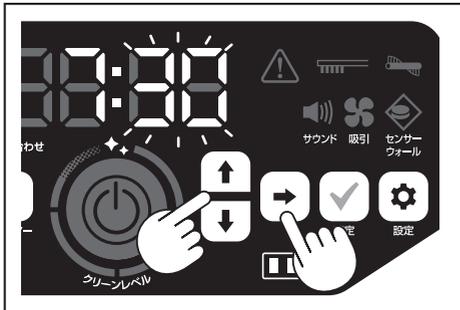
1. 上/下ボタンで [AM] または [PM]、表示なし (24 時間表示) から表示形式を選択し、次ボタンで確定します。
次ボタンを押すと、時間が点滅します。



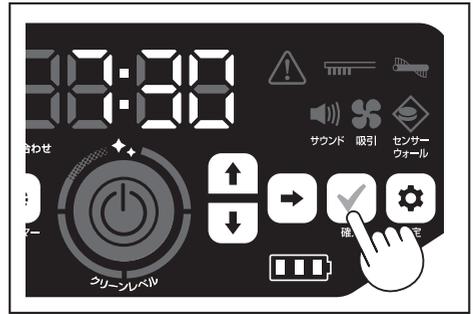
2. 上/下ボタンで時間を選択し、次ボタンで確定します。
次ボタンを押すと、分が点滅します。



3. 上/下ボタンで分を選択し、次ボタンで確定します。



4. 確定ボタンを押して、時刻を確定します。



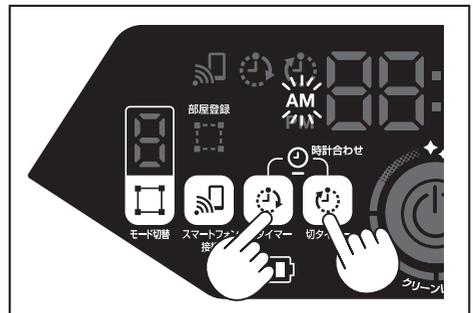
注

- ・ 時間/分の調整時、上/下ボタンを長押しすると、時間/分が速く変わります。
- ・ 長期間使用していない場合、保管温度などにより設定した時刻がずれたり、内蔵電池残量がなくなるとリセットされる場合があります (再充電は、P.53「操作パネル」を参照)。

時刻を再設定する

ロボットクリーナとスマートフォンを接続するとスマートフォンの時刻がロボットクリーナに自動設定されます。手動で再設定する場合は以下の操作をしてください。

1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
2. 入タイマーボタンと切タイマーボタンを同時に長押しすると、[AM] または [PM] の表示形式が点滅します (前回 24 時間表示に設定した場合は点滅しません)。



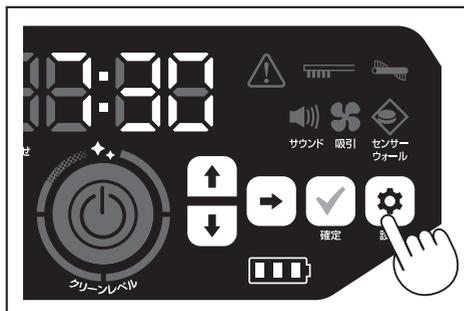
3. P.39「時刻を設定する」の手順 1 以降に従い、時刻を設定します。

Wi-Fi® を設定する (ロボットクリーナとスマートフォン)

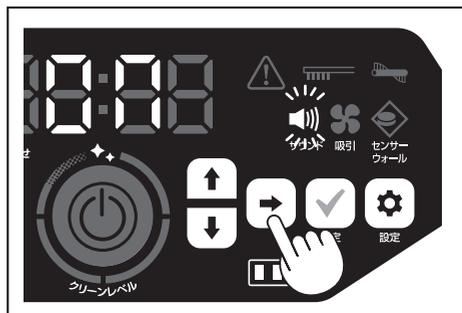
- ・ アプリからロボットクリーナの操作をするには、アプリとロボットクリーナの Wi-Fi® 設定をしてください (57 ページ参照)。
- ・ アプリはスマートフォンにあらかじめインストールしてください。
- ・ ロボットクリーナはスマートフォンのアクセスポイントになります。スマートフォンがロボットクリーナと接続しているとき、ロボットクリーナ以外のネットワークに接続していない状態になります。
- ・ ロボットクリーナとスマートフォンを接続するときはスマートフォン接続ボタンを押してください。Wi-Fi® 接続すると、スマートフォン接続ランプが点滅します。
- ・ Wi-Fi® を使用しないときはスマートフォン接続ボタンを押して、スマートフォン接続ランプを消灯してください。
- ・ 複数台のロボットクリーナをひとつのアプリで管理することができます。その場合は、一台ずつアプリと無線接続してください。

サウンドを設定する

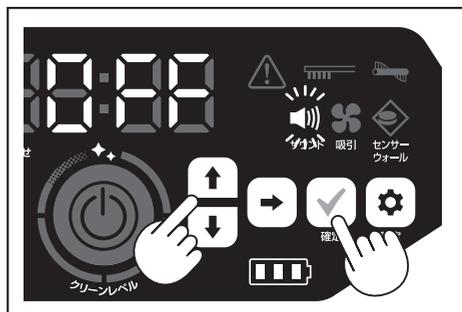
- ・ ロボットクリーナのサウンドの有無が設定できません。
 - ・ リモコンからもサウンドの設定ができます。
1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にして、設定ボタンを押して設定選択モードにします。



2. 次ボタンを押して、サウンドランプを点滅させます。



3. 上/下ボタンでオン/オフを切り替えることができます。オン/オフを選択したら、確定ボタンを押して設定を確定してください。
- ・ オン：サウンドランプ点灯 (サウンド有効)
 - ・ オフ：サウンドランプ消灯 (サウンド無効)



注

サウンドをオフに設定しても、エラーなど通知のためサウンドが鳴る場合があります。

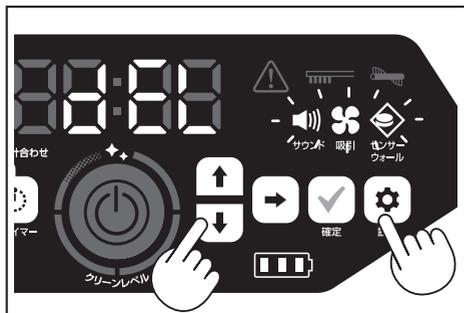
リモコンでサウンドのオン/オフを切り替える

ロボットクリーナをスタンバイ状態にして、リモコンのサウンド入/切ボタンを押すと、オン/オフを切り替えることができます。また、リモコンで設定する場合は、清掃中でもオン/オフの切り替えができます。

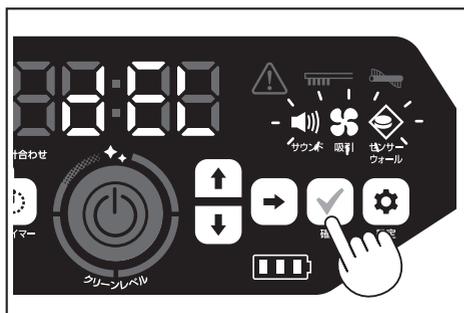
設定をリセットする

ロボットクリーナを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. ロボットクリーナをスタンバイ状態にします (27 ページ参照)。
2. 下ボタンと設定ボタンを長押しします。時刻表示部に [dEL] が表示され、エラーランプ以外のアイコンとランプが点滅します。



3. [dEL] が表示中 (約 10 秒) に確定ボタンを押します。
 - ・ [dEL] が表示中に確定ボタンを押さない場合、ロボットクリーナはスタンバイ状態に戻ります。
 - ・ ロボットクリーナがリセット処理を実行しているときは、バッテリー残容量ランプ以外のアイコンやランプは消灯します。このとき操作パネルのボタンを押しても、ロボットクリーナは動作しませんが、ボタンに触らないようにしてください。また、バッテリーを抜かないようにしてください。

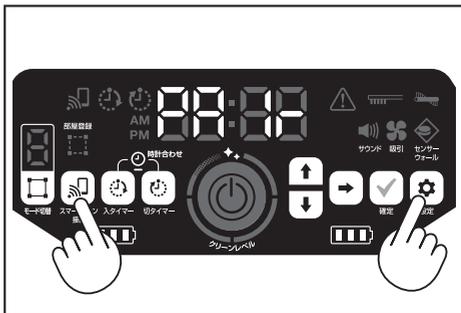


4. リセット処理が終わると、再起動した後に時刻設定の画面になります。

ロボットクリーナとリモコンをペアリングする

リモコンを新しいものに交換したときは、ロボットクリーナとリモコンをペアリングしてください。

1. ロボットクリーナのスマートフォン接続ボタンと設定ボタンを同時に長押しして、時刻表示部に [PAIr] を表示します。[PAIr] は 10 秒間表示されます。



2. [PAIr] が表示されているあいだに、リモコンの操作ボタン (下) とサウンド入/切りボタンを同時に押します。ペアリングが成功すると短い音が 2 回鳴り、スタンバイ状態に戻ります。



注

- ・ ペアリングが失敗したときはエラー音が鳴ります。
- ・ [PAIr] が表示中にロボットクリーナがリモコンからの信号を受信できない場合は、ロボットクリーナはスタンバイ状態に戻ります。

お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際には必ず電源を切り、ロボットクリーナからバッテリーを抜いてください。

- ・ ロボットクリーナにバッテリーを差したまま行うと、感電やけがの原因になります。

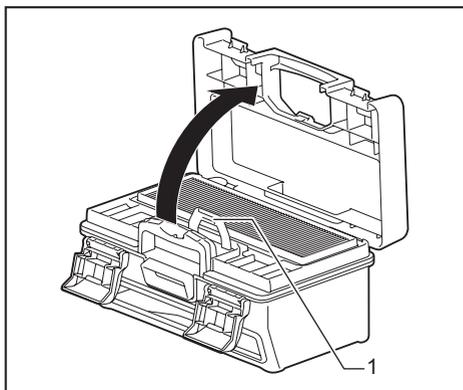
⚠ 注意

ロボットクリーナを最適な状態で維持するために、この章のお手入れを定期的に行ってください。問題が発生した場合は、ロボットクリーナの使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

保守点検

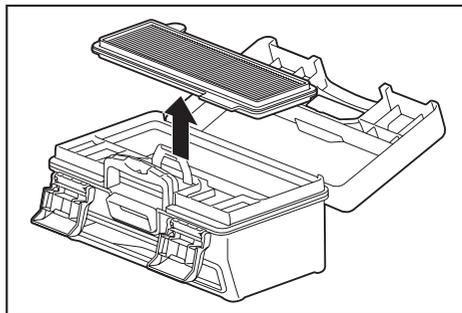
ダストボックスとフィルタのお手入れ ／交換

- ・ ロボットクリーナの吸引力が弱くなったときや汚れが気になるとき、フィルタお手入れランプがついたときは、フィルタをはずして水洗いしてください。
 - ・ 新聞紙などを敷いて、お手入れしてください。
 - ・ 薬剤または約 40℃以上のお湯などを使用しないでください。
1. P.37「ゴミの捨て方」の手順 1. から手順 5. に従って、ゴミを捨てます。
 2. ダストケースをダストボックスに戻し、いったんダストボックスのふたを閉めます。
 3. フックをはずして、フィルタ側のふたを開けます。

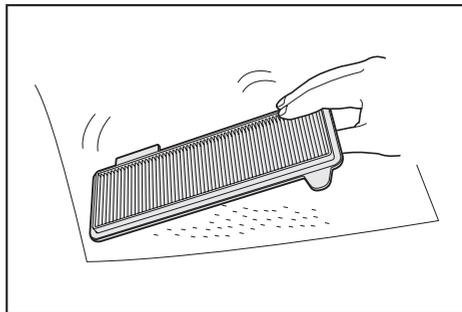


- ▶ 1. フック

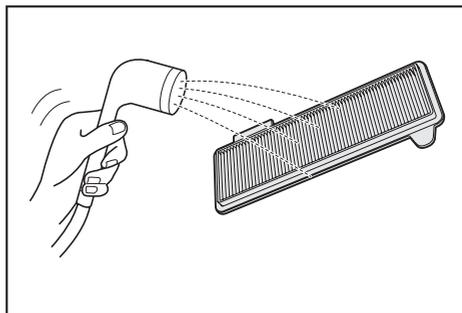
4. フィルタをダストボックスからはずします。フィルタを取りはずすときは、ゴミが舞い上がらないようゆっくりと作業してください。



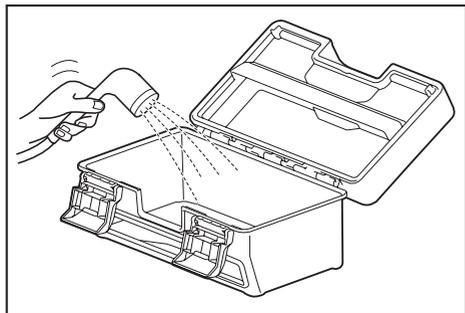
5. フィルタを軽くたたいて、ゴミやほこりを落とします。
 - ・ フィルタを強くこすったり、指で押さえたりしないでください。
 - ・ 先のとがったもの（つまようじなど）は、破損の原因になるので使用しないでください。



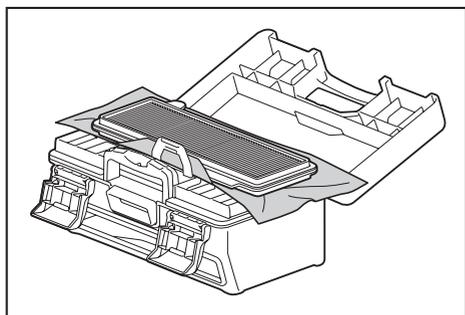
6. ロボットクリーナの吸引力が弱いときは、フィルタを水洗いします。臭いが気になるときは、薄めた中性洗剤に約 3 時間つけた後で水洗いしてください。



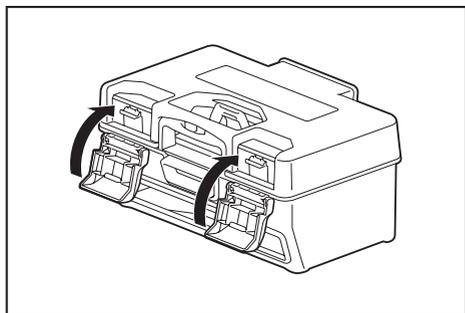
7. ダストボックスの汚れが気になるときは、水または薄めた中性洗剤で洗います。



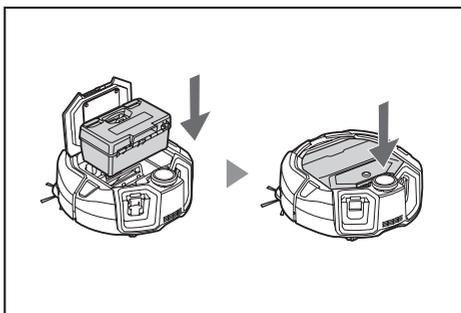
8. フィルタまたはダストボックスを水洗いしたときは、風通しの良いところで十分に陰干しします。
- ・乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸引力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因になります。
 - ・水分が残ったまま使用すると、臭いの発生や故障の原因になります。
 - ・乾燥時間の目安は約1日です。
 - ・ドライヤーやブロワなどで乾燥しないでください。
9. フィルタをダストボックスに取り付けます。乾いたティッシュペーパーをはさむと、フィルタにゴミが付きにくくなります。ゴミを捨てるたびに、ティッシュペーパーは新しいものに交換してください。



10. フィルタ側のふたを閉め、フックがかかったことを確認し、2か所のロックを固定します。



11. ダストボックスをロボットクリーナに戻し、カチッと音がするまでふたを閉めます。閉めるときは指をはさまないようにご注意ください。

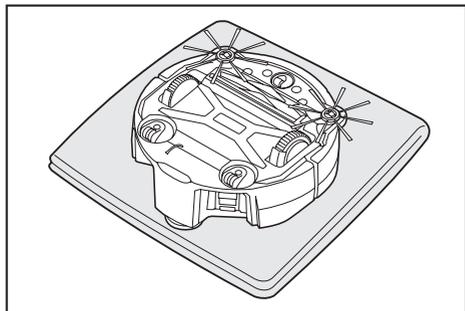


注

- ・ フィルタ類を取りはずしたままロボットクリーナを使用しないでください。また、フィルタ類が破損した状態、または汚れた状態で使用しないでください。
- ・ フィルタは水洗いができますので定期的(1~2ヶ月毎)に粉じんを水で洗い流してください。
- ・ フィルタが劣化したときは、新しいフィルタに交換してください。
- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ ブラシやヘラなどかたいものをこすってキズを付けないようにしてください。
- ・ HEPA フィルタはキズ付きやすいので、エアブローや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

ロボットクリーナ裏側をお手入れする際のご注意

- お手入れの前に、ダストボックスを取り出してください (37 ページ参照)。取り出さないと開口部からゴミがこぼれることがあります。
- サイドブラシや回転ブラシ、ロボットクリーナ裏側、車輪類をお手入れするときは、ロボットクリーナを裏返してください。
- お手入れの際は、ロボットクリーナや床面にキズが付かないよう、また LiDAR センサに力がかからないように、厚みのあるマットなどを敷いてください。

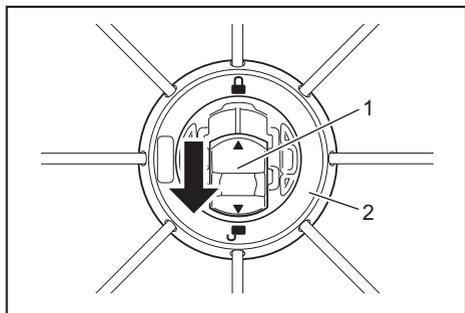


- 裏返した状態でロボットクリーナの裏側を強く押さえないでください。強く押すと、ロボットクリーナの破損の原因となる可能性があります。

サイドブラシのお手入れ／交換

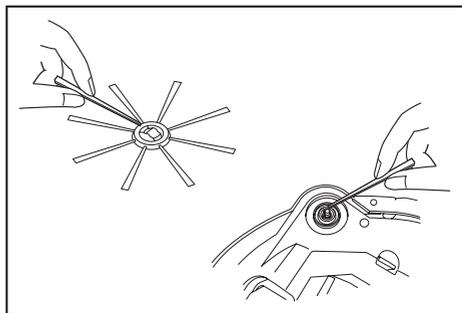
- エラー表示 (48 ページ参照) が出たり、ゴミや毛がからみついたりしたときは、サイドブラシをお手入れしてください。
- サイドブラシの毛が曲がったり、抜けたりしたときは、新しいものに交換してください。
- サイドブラシが回らない、または回りにくい場合は、サイドブラシをはずしてからお手入れしてください。

1. マットなどの上で、ロボットクリーナを裏返します。
2. サイドブラシのロックレバーを  (解除マーク) へずらします。



▶ 1. ロックレバー 2. サイドブラシ

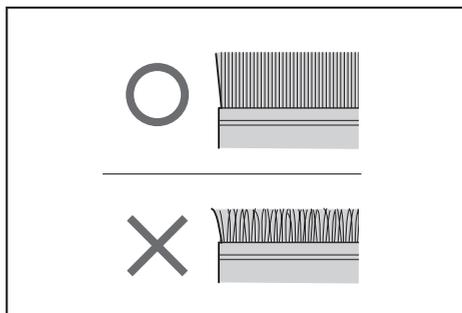
3. サイドブラシを取りはずします。
4. サイドブラシにからみついた髪の毛やゴミをピンセットなどで取り除きます。



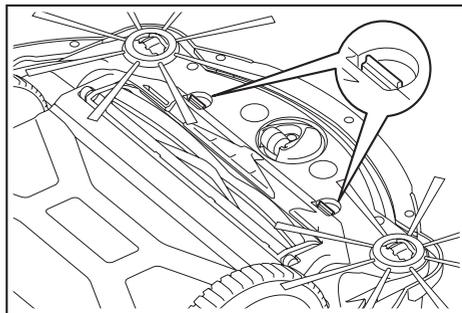
5. サイドブラシをロボットクリーナに取り付けます (25 ページ参照)。

回転ブラシのお手入れ／交換

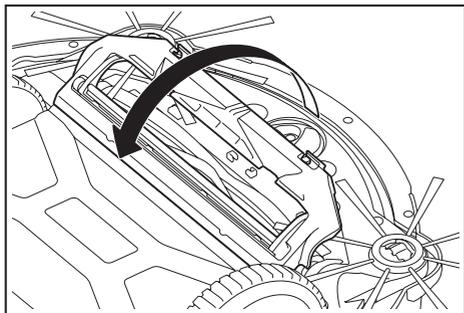
- エラー表示が出たり (48 ページ参照)、糸くずや輪ゴム、毛髪や動物の毛がからみついたりしたときは、回転ブラシをお手入れしてください。
- 回転ブラシの毛が摩耗して短くなってきたら、回転ブラシを交換してください。



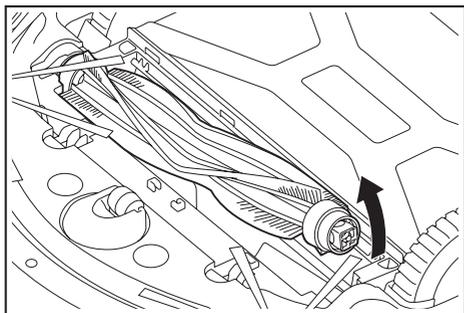
1. マットなどの上で、ロボットクリーナを裏返します。
2. 回転ブラシカバーのフックをつまんではずします。



3. 回転ブラシカバーを取りはずします。
 回転ブラシカバーは分解しないでください。



4. 回転ブラシを取り出します。



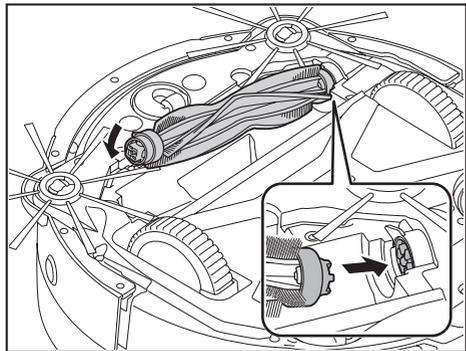
5. 回転ブラシ、回転ブラシカバー、回転ブラシ収納部、ジョイントを下記に従ってお手入れをします。

各部	お手入れ方法
回転ブラシ	<p>回転ブラシに付いている軸受けキャップを取りはずし、からまったゴミを取り除きます。</p> <p>からみついた毛髪や糸くずなどは、ブラシの溝に沿ってハサミで短く切ってから取り除いてください。付着した粉じんは水で洗い流してください。</p> <p>1</p> <p>▶ 1. 軸受けキャップ</p>
回転ブラシカバー	<p>水または薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。汚れが気になるときは、水で洗い流してください。</p>
回転ブラシ収納部	<p>水または薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。 水洗いはできません。</p>
ジョイント	<p>ロボットクリーナに付いているジョイントは、ジョイントが回らないように押さえながらドライバーでネジをゆるめ、手でつまんで取りはずします。ロボットクリーナ内部にからまったゴミを取り除きます。</p> <p>1 2</p> <p>▶ 1. ジョイント 2. ネジ</p>

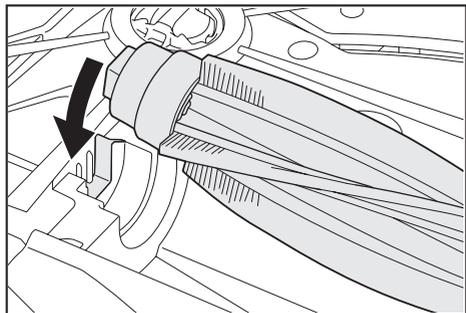
注

シンナーやベンジン、アルコールなどは変質や変色の原因となりますので使用しないでください。

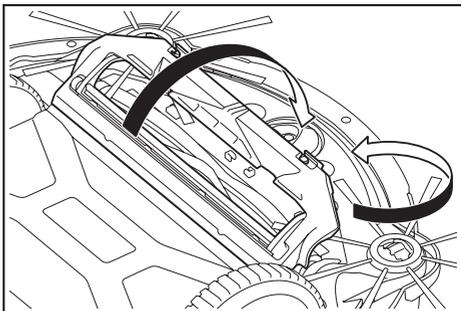
6. 水洗いした部品は、風通しの良いところで十分に陰干しします。
 - ・乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸引力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因になります。
 - ・水分が残ったまま使用すると、臭いの発生や故障の原因になります。
 - ・乾燥時間の目安は約1日です。
 - ・ドライヤーやブロウなどで乾燥しないでください。
7. 軸受けキャップを回転ブラシの元の位置に戻します。
8. ジョイントをロボットクリーナにネジで取り付けます。
9. 回転ブラシのホルダの形状とロボットクリーナのジョイントの溝が合うように取り付けます。



10. 軸受けキャップを回して向きを合わせ、ロボットクリーナに差し込んでください。

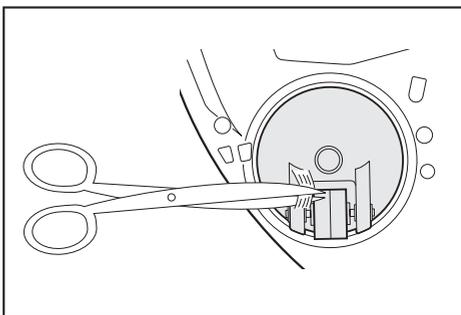


11. 回転ブラシカバーを取り付けます(フックをカチッと音がするまで押し込む)。
 - ・サイドブラシを回転ブラシカバーにはさみ込まないようにご注意ください。
 - ・一度サイドブラシを取りはずすか、サイドブラシを図の方向に回転させながら回転ブラシカバーを取り付けると、はさみ込みにくくなります。

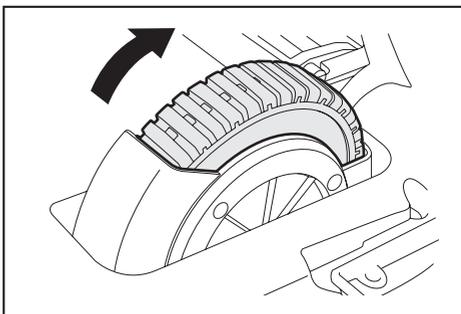


車輪類のお手入れ

- ・ゴミや毛がからみついたりしたときは、車輪類をお手入れしてください。
- ・車輪類はロボットクリーナから取りはずさないでください。
- ・キャストからみついたゴミを取ってください。取りにくい場合は、先の細いサミヤピンセットなどで取り除いてください。



- ・左右の駆動車輪は車輪を回しながらゴミを取ってください。このとき、手をはさまないようにご注意ください。

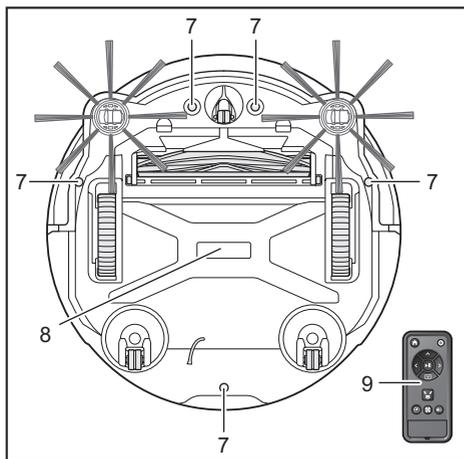
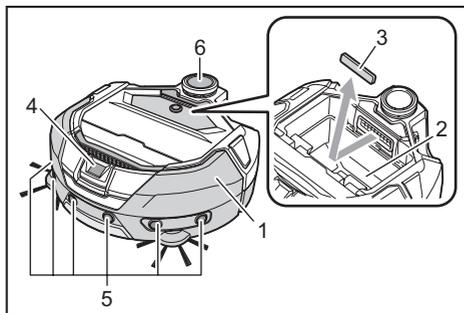


ロボットクリーナーのお手入れ

注

- ・シンナーやベンジン、アルコールなどは変質や変色の原因となりますので使用しないでください。
- ・先のとがったもの（つまようじなど）は破損やキズ付きの原因となりますので使用しないでください。

ロボットクリーナー各部のお手入れは右記の表に従ってください。



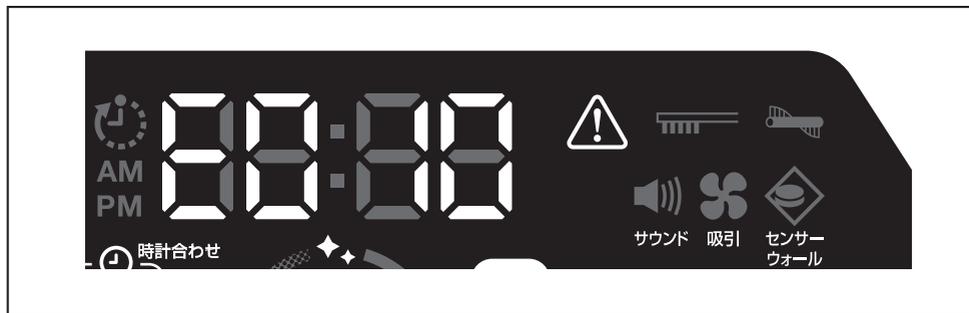
番号	各部	お手入れ方法
1.	ロボットクリーナー表面	水または薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。
2.	ロボットクリーナー内部（ダストボックス収納部）	水または薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。
3.	ロボットクリーナー内部吸引ロスポンジ	スポンジは取り出してから、付着した粉じんを水で洗い流してください。
4.	カメラセンサ	キズが付かないように柔らかい布または綿棒で汚れを取り除いてください。
5.	超音波センサ	水または薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。
6.	LiDAR センサ	LiDAR センサのカバー内に付着したほこりやゴミを取り除いてください。
7.	段差センサ (5 か所)	キズが付かないように柔らかい布または綿棒で汚れを取り除いてください。
8.	ロボットクリーナー裏側	水または薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。
9.	リモコンの表面とボタン	乾いた布で汚れを拭き取ってください。

修理について

- ・お知らせやエラー表示（48 ページ参照）の原因を取り除いても運転ができない場合は、電源を切ってから、入れ直してください。
- ・同じお知らせ、エラー表示が繰り返し出る場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・修理はご自分では行わないでください。必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・修理をお申し付けの際は、ロボットクリーナー、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

お知らせ／エラー表示

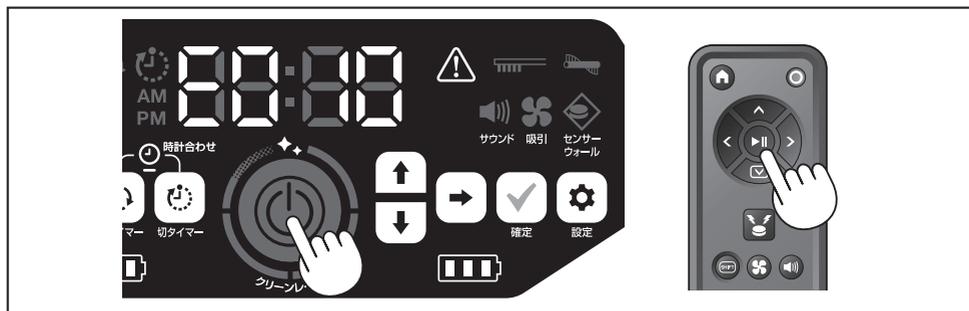
お手入れが必要なときやエラーが起きたとき、ロボットクリーナの操作パネルに赤いランプが点灯し、エラー番号を表示します。また、サウンドによるお知らせもあります。



お知らせとエラー表示を解除する

- ・ フィルタお手入れのお知らせが出たときは、ロボットクリーナの運転はできますが、正しく動作しない場合があります。原因を取り除いてから、ご使用ください。
- ・ エラーのお知らせが出たときは、ロボットクリーナの運転が停止します。次のように対応してください。

1. エラー番号を確認し、エラーの原因を取り除きます（49 ページ参照）。
 - ・ エラーの原因を取り除く前に、電源を切ったり、バッテリー残量がなくなり電源が切れたりすると、ロボットクリーナは一時的にエラーを解除します。
2. ロボットクリーナまたはリモコンのスタート／ストップボタンを押すと、エラー表示が解除され、ロボットクリーナはスタンバイ状態になります。



3. エラーが解除されたことを確認した上で、ロボットクリーナをご使用ください。

注

- ・ 原因を取り除いても運転ができない場合は、ロボットクリーナを再起動してください。
- ・ 同じエラー表示が繰り返し出る場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

お手入れなどのお知らせ

ランプが点灯したら、電源を切り、バッテリーを抜いてから下記に従って対処してください。

お知らせ内容	原因	対応
・フィルタのお手入れ必要 	ゴミがたまっていたり、フィルタが目詰まりしたりしている。	ゴミを捨て、フィルタをお手入れしてください。 ⇒ 37、42 ページ参照 ロボットクリーナ内部や排気口にゴミがたまっていないか確認してください。

エラーのお知らせ

- ・時刻表示部の番号とエラーランプに従って対処してください。
- ・エラー番号の「X」の部分にはエラーの詳細に応じて数字が入ります。お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせの際にお伝えください。
- ・原因の確認や対応の際は、必要に応じて電源を切り、バッテリーを抜いてから対処してください。
- ・その他のエラー番号が表示された場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

番号	原因	対応
お知らせ内容		
E01X 駆動車輪のエラー 	駆動車輪に糸くずや毛髪などの異物がからみついていませんか。 ロボットクリーナが低いすき間を通るとき、すき間にはさまってお知らせを表示する場合があります。	異物を取り除いてください。 ⇒ 46 ページ参照 故障ではありません。
E02X、E190 脱輪、ロボットクリーナ 浮き上がりのエラー 	駆動車輪が脱輪していたり、車輪部が地面から離れたたりしていませんか。	ロボットクリーナを別の場所に移動してください。 ⇒ 20 ページ参照
E030 回転ブラシのエラー  	回転ブラシに糸くずや毛髪などの異物がからみついていませんか。	異物を取り除いてください。 ⇒ 44 ページ参照
E04X サイドブラシの エラー  	サイドブラシに糸くずや毛髪などの異物がからみついていませんか。	異物を取り除いてください。 ⇒ 25、44 ページ参照
E060 ダストボックス、 フィルタの未検知  	ダストボックスまたはフィルタが入っていません。	正しく取り付けられているか確認してください。 ⇒ 37、42 ページ参照
E09X 段差センサのエラー 	ロボットクリーナに直射日光が当たっていませんか。 ロボットクリーナが黒い床面の上にはいませんか。 段差センサが汚れていませんか。	ロボットクリーナを別の場所に移動してください。 ⇒ 20、21、22 ページ参照 ・段差センサの汚れを乾いた柔らかい布や綿棒などで軽く拭き取ってください。 ・アースラインが地面に当たっているか確認してください。 ⇒ 14、22、47 ページ参照
E10X バンパーセンサの エラー 	バンパーセンサの誤作動です。	バンパーを手で10回ほど押してください。 ⇒ 13 ページ参照

番号		原因	対応
お知らせ内容			
E110 動作エラー		ロボットクリーナが段差などに乗り上げ、立ち往生していませんか。	ロボットクリーナを別の場所に移動してください。 ⇒ 20 ページ参照
E12X バッテリー残容量低下 タイマー設定のエラー		バッテリー残容量が不足した状態で、入タイマー予約運転をスタートしていませんか。	入タイマー予約運転スタート時は、バッテリーを満充電にしてください。
E140 部屋設定のエラー 位置情報のエラー		マッピング登録した部屋と異なっているか、掃除スタート地点が異なっていますか。	マッピング登録した部屋または掃除スタート地点を確認してください。 ⇒ 30 ページ参照
		マッピング登録した部屋のレイアウトが変更されていませんか。	再度マッピング登録をしてください。 ⇒ 30 ページ参照
		LiDAR センサが布などでふさがったり、汚れていたりしていませんか。	布などを取り除き、LiDAR センサをお手入れしてください。 ⇒ 47 ページ参照
		周囲に LiDAR センサで検知可能な高さ 25 cm 以上の障害物がありますか。	マッピングモードとマッピング清掃モードではロボットクリーナから半径 11 m 以内、フリー清掃モードでは半径 18 m 以内に LiDAR センサで検知可能な障害物が必要です。高さ 25 cm 以上の障害物を置いてご使用ください。
E170 ロボットクリーナ ふたのエラー		ロボットクリーナのふたが開いていませんか。	ロボットクリーナのふたを閉めてください。
E200 スタート位置に戻れないエラー 目的地へ移動できないエラー		ロボットクリーナが掃除スタート地点に戻ることができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走行中の妨げになる障害物などがあれば片付けるか、ロボットクリーナが近づけないようにしてください。 ⇒ 35 ページ参照 ・ 通路が 80 cm 以上あるか確認してください。 ・ ホーミング中のエラーが多い場合、アプリで [ホーミング優先] をオンにすると、スタート地点へ戻る時間をより長く設定することができます。 ⇒ 75 ページ参照
		狭い場所に入りこんで次の目的地に進むことができませんでした。	

トラブルシューティング

修理のご依頼やお問い合わせの前に、下記内容をお調べください。

電源

症状	原因	対応
・スタート/ストップボタンを押しても電源が入らない。 ・ランプがつかない。 ・ロボットクリーナやリモコンのボタンを押しても何も反応しない。	バッテリーを正しく取り付けていますか。	バッテリーの取り付けを確認してください。 ⇒ 27 ページ参照
	バッテリー残容量がなくなっていますか。	残容量を確認してください。
	ロボットクリーナの電源が切れていませんか。	ロボットクリーナのスタート/ストップボタンを押して、電源を入れてください。 ⇒ 27 ページ参照

運転動作

症状	原因	対応
運転しない。	エラーランプが点滅していませんか。	エラー中は運転しません。 ⇒ 48 ページ参照
	入タイマー予約運転待ちモードになっていませんか。	予約運転待ちモードのときは、電源を切る、位置おしらせ以外の操作はできません。 ⇒ 34 ページ参照
操作をしていないのに突然動き出す。	入タイマーを設定していませんか。	⇒ 34 ページ参照
運転中に止まる。	ロボットクリーナがコードなどに引っかかっていますか。また、薄いタオルなどの布やひもなどが、車輪類に巻き付いていませんか。	ロボットクリーナの電源を切り、ロボットクリーナに引っかかったものや、車輪類に巻き付いたものはずしてください。 ⇒ 46 ページ参照
	ロボットクリーナが段差を乗り越えられずに止まっていますか。	ロボットクリーナの電源を切り、ロボットクリーナを別の場所に移してください。 ⇒ 20 ページ参照
	切タイマーを設定していませんか。	⇒ 34 ページ参照
	周囲にLiDAR センサで検知可能な高さ 25 cm 以上の障害物がありますか。	マッピングモードとマッピング清掃モードではロボットクリーナから半径 11 m 以内、フリー清掃モードでは半径 18 m 以内にLiDAR センサで検知可能な障害物が必要です。高さ 25 cm 以上の障害物を置いてご使用ください。
速度が変化する。	センサが障害物を検知したり、走行方向の判断をしたりするときに、速度を落とすことがあります。	異常ではありません。

症状	原因	対応
まっすぐ進まない。	車輪類に異物がはさまっていませんか。	ロボットクリーナの電源を切り、車輪類の異物を取り除いてください。 ⇒ 46 ページ参照
	車輪類が破損していませんか。	お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
	超音波センサ、LiDAR センサが汚れていませんか。	お手入れしてください。 ⇒ 47 ページ参照
以前に比べて障害物に衝突することが増えた。	超音波センサ、LiDAR センサが汚れていませんか。	お手入れしてください。 ⇒ 47 ページ参照
段差を回避できずに落下する。	段差センサが汚れていませんか。	お手入れしてください。 ⇒ 47 ページ参照
	3.0 cm 以下の段差は降りることがあります。	故障ではありません。 ⇒ 22 ページ参照
障害物や段差がないのに回避動作を続ける。	段差センサ、LiDAR センサが汚れていませんか。	お手入れしてください。 ⇒ 47 ページ参照
段差センサが汚れやすい。	アースラインが切れて地面に当たらなくなっていますか。	お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
運転音がいつもより大きい。	ダストボックスがゴミでいっぱいになっていませんか。フィルタは、目詰まりしていませんか。	ゴミを捨ててお手入れしてください。 ⇒ 37、42 ページ参照
	回転ブラシやサイドブラシにゴミがからみついていますか。	お手入れしてください。また、ブラシの取り付けを確認してください。 ⇒ 44 ページ参照
・ 吸引力が弱い。 ・ ゴミを吸わない。	ダストボックスがゴミでいっぱいになっていませんか。フィルタは、目詰まりしていませんか。	ゴミを捨ててお手入れしてください。 ⇒ 37、42 ページ参照
	吸引ファンがオフになっていませんか。	設定を確認してください。 ⇒ 32 ページ参照
サイドブラシがはずれる。	サイドブラシを正しく取り付けられていますか。	取り付けを確認してください。 ⇒ 25 ページ参照
サイドブラシや回転ブラシが回らない、回りにくい、からみつく。	サイドブラシや回転ブラシに異物（糸くずや毛髪など）がからみついていますか。	お手入れしてください。また、回転ブラシと回転ブラシカバーが確実に取り付けられているかもご確認ください。 ⇒ 44 ページ参照
	毛足の長さが 7 mm を超える数物の上では使用できません。また、長さが 7 mm 以下でも、毛足の材質などによっては運転が停止したり、毛足がサイドブラシにからみついたりすることがあります。	⇒ 21 ページ参照
排気が臭う。	湿ったゴミや臭いがするゴミを吸い込んでいませんか。	ゴミを捨ててください。 ⇒ 37 ページ参照
	フィルタが目詰まりしていませんか。	お手入れしてください。水洗いした場合は十分に乾かしてからご使用ください。 ⇒ 42 ページ参照
運転中に吸引ファンの音が大きくなる。	バッテリーが切り替わったときに吸引ファンの音が変わることがあります。	異常ではありません。

リモコン操作

症状	原因	対策
リモコン操作ができない。	リモコンに電池を正しく入れていませんか。	電池の向きを確認してください。 ⇒ 26 ページ参照
	リモコンを操作してもとどき反応しなくなったときは、電池の寿命が考えられます（交換の目安は約 1 年です。使用する電池や条件により、1 年未満で消耗することがあります）。	新しい電池と交換してください。 ⇒ 26 ページ参照
	ロボットクリーナの電源が切れていませんか。	ロボットクリーナのスタート/ストップボタンを押して、電源を入れてください。 ⇒ 27 ページ参照
	リモコンとロボットクリーナの距離が遠いため、電波が十分に届いていない可能性があります。	リモコンとロボットクリーナの距離を近づけるか、障害物を移動させるなどして、見通しをよくしてください。 ⇒ 23 ページ参照
	次のような 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器が近くで動作している可能性があります。 ・電子レンジ ・Bluetooth® 対応機器 ・無線 LAN 機器 ・その他の 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器（デジタルコードレス電話機やゲーム機など）	ロボットクリーナとリモコンを遠ざけるか、これらの機器の使用を一時的に中断してください。
	リモコンを新しいものに交換したときは、ロボットクリーナとペアリングしてください。	⇒ 41 ページ参照
	上記の内容を調べてもリモコンで操作ができない場合は、ロボットクリーナの電源を切ってから、もう一度入れてください。	⇒ 27 ページ参照

操作パネル

症状	原因	対策
設定していた時刻が頻繁にリセットされる。	長期間使用していないことで内部電池残量が少なくなっていることがあります。	ロボットクリーナを 1 時間以上使用するかスタンバイ状態にしてください（内部電池が再充電されます）。

タイマー機能

症状	原因	対策
設定した時間に入タイマー予約運転をしていない。	入タイマー予約運転スタート時に以下の場合は、入タイマー予約運転をしません。 ・電源が切れているとき ・バッテリーが不足しているとき	⇒ 34 ページ参照
	タイマーランプは点灯していますか。	予約設定後、電源を切ったり、バッテリー残容量が完全になくなった場合は、タイマーランプが消灯します。 ⇒ 15 ページ参照

マッピング

症状	原因	対策
<ul style="list-style-type: none"> マッピング中に止まる。 マッピングできない。 	マッピング中に室内を暗くしていませんか。	マッピング完了まで部屋を明るくしてください。
	ロボットクリーナの半径約 11 m の周囲に高さ 25 cm 以上の障害物がない。	マッピングできない環境の可能性があります。フリー清掃モードでの掃除をおすすめします。 ⇒ 29 ページ参照
マッピングではなく掃除を開始してしまう。	既に登録済みの部屋番号を選んでいませんか。	未登録の部屋番号を選ぶか、登録済みのマップを削除してください。 ⇒ 30、31 ページ参照
<ul style="list-style-type: none"> マップが登録されない。 マップが不完全（登録されないエリアがある）。 	部屋の形状、障害物の配置などが複雑すぎる。	通路が 80 cm 以上あるか確認してください。部屋を整理してください。 ⇒ 23 ページ参照
		バッテリー容量が不足している可能性があります。満充電状態にして、マッピングしてください。
		手動でマッピング情報を追加することができます。 ⇒ 69 ページ参照
	マッピング中にロボットクリーナを持ち運んだ。	マッピング中にロボットクリーナを持ち運ばないでください。部屋情報が正しく登録できない場合があります。

アプリ

症状	原因	対策
アプリと接続できない。	ロボットクリーナのスマートフォン接続ボタンを押しましたか。	スマートフォン接続ボタンを押して、アプリと接続してください。 ⇒ 58 ページ参照
	スマートフォンの Wi-Fi [®] 設定を有効にしましたか。	スマートフォンの Wi-Fi [®] 設定を有効にしてください。
	スマートフォンとロボットクリーナの距離が遠いため、電波が十分に届いていない可能性があります。	スマートフォンとロボットクリーナの距離を近づけるか、障害物を移動させるなどして、見通しをよくしてください。 ⇒ 23 ページ参照
	ロボットクリーナとの接続に失敗している可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> iPhone の場合、iOS のバージョンによってローカルネットワークへの許可が必要です。iOS の [設定] → [マキタロボプロ RC300D] → [ローカルネットワーク] の項目がある場合は、そこから許可してください。 Android の場合、Wi-Fi[®] 接続後に接続を維持するかどうかのポップアップが出ることがあります。その場合は接続維持を許可してください。
	位置情報取得に失敗している可能性があります (PIN コード入力画面でロボット名が「null」と表示されている場合)。	スマートフォン本体の位置情報利用設定をオンにしてください。

保護機能

ロボットクリーナを使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
バッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none">・使用を中断してロボットクリーナよりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却、またはバッテリーが冷めるまでお待ちください。・バッテリーを冷ましてもロボットクリーナが動作しない場合は、ロボットクリーナを冷ましてください。・ロボットクリーナにエラー番号が表示されているときは、エラーの原因を取り除いてください（49 ページ参照）。
バッテリーの容量が少なくなるとロボットクリーナは自動停止し、スリープ状態になり、さらに容量が少なくなると電源が完全に切れます。 <ul style="list-style-type: none">・ロボットクリーナよりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
異常を検知するとロボットクリーナは自動停止します。 <ul style="list-style-type: none">・エラー番号を確認し、エラーの原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます（49 ページ参照）。

保管

保管時は電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。

また、ロボットクリーナは精密機械のため、次のような場所に保管しないでください。発熱や発火、感電、故障、ゴム部品の劣化などの原因になります。

- ・ 温度が急激に上がる場所
- ・ 温度が急激に下がる場所
- ・ 温度が急激に変化する場所
- ・ 火気類や熱器具、冷暖房機器などの近く
- ・ 屋外
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 湿気や湯気が多い場所
- ・ ほこりや砂が多い場所
- ・ 油煙が多い場所
- ・ 通気が悪い場所

長期間保管したままで使用しない状態が続きますと、ロボットクリーナの性能を損なう恐れがあります。末永くお使いいただくために、ときどきロボットクリーナの電源を入れて、使用してください。

スマートフォンアプリ (RC300D 用)

目次

・ アプリでできること	57
・ アプリのインストール方法	57
・ 事前準備	57
・ スマートフォンにインストールする	57
・ 初期設定	58
・ Wi-Fi® 接続を切る	58
・ ホーム画面	59
・ アプリで掃除をする	59
・ マッピングをしないうちで部屋を掃除する (フリー清掃モード)	59
・ マッピングした部屋を掃除する	61
・ アプリでロボットクリーナを操作する	63
・ 掃除の履歴を確認する	63
・ 最新の履歴を確認する	63
・ これまでの履歴を確認する	64
・ 通知履歴を確認する	65
・ マッピング情報を追加/変更/削除する	66
・ マッピング情報を追加する	66
・ 手動でマッピング情報を追加する (マニュアルマッピング)	69
・ マッピング情報の名前を変更する	70
・ 掃除範囲を制限する (禁止エリア設定)	71
・ マッピング情報を削除する	73
・ 設定を変更/確認する	74
・ 登録したロボットクリーナの名前を変更する	74
・ 掃除オプション設定	75
・ PIN コードを変更する	76
・ 登録したロボットクリーナ情報を削除する	77
・ アプリ情報を確認する	77
・ トラブルシューティング	78
・ エラーメッセージ	78

アプリでできること

ロボットクリーナ専用アプリをインストールしたスマートフォンを使って、次のようなことができます。

- ・ 掃除
- ・ リモコン操作
- ・ マッピング情報の追加、変更、削除
- ・ 掃除の履歴確認
- ・ ロボットクリーナの設定変更

注

- ・ 本アプリはスマートフォン向けのアプリです。タブレット端末や PC には対応していません。
- ・ スマートフォンとロボットクリーナは Wi-Fi® 機能を利用して直接接続します。お使いの機種によっては、ロボットクリーナとの接続中はインターネットに接続できない点にご注意ください。そのため、アプリ利用後にはロボットクリーナのスマートフォン接続ボタンを押してロボットクリーナとの接続を切断してください。
- ・ 本アプリを使用するには、位置情報の取得の許可および利用規約の同意が必要になります。位置情報の取得の許可および利用規約の同意はお客様で判断してください。
- ・ アプリ画面は今後のアップデートなどで予告なく変更となる場合があります。

アプリのインストール方法

事前準備

アプリをご使用いただくには、スマートフォン (Android または iOS) が必要です。

- ・ Android : Android バージョン 6.0 以上が必要。
- ・ iOS (iPhone) : iOS 12 以上が必要。

スマートフォンにインストールする

1. スマートフォンから Google Play™ または App Store で「マキタロボプロ RC300D」を検索します。QR コードからもアクセスできます。

Google Play™



App Store



2. 「マキタロボプロ RC300D」をインストールします。
3. インストール後、「マキタロボプロ RC300D」を起動します。

初期設定

1. 位置情報の取得を許可する画面が表示されたら、[OK] をタップします。
2. 利用規約画面で [同意] をタップします。
3. 画面に従って操作します。
 - ・ ロボットクリーナの電源を入れ、ロボットクリーナのスマートフォン接続ボタンを押します。接続の用意が完了すると、Wi-Fi® LED (スマートフォン接続ランプ) が点滅します。ロボットクリーナのスマートフォン接続ボタンを押してから接続可能になるまで 8 秒程度かかります。
 - ・ [設定へ移動します] をタップして、スマートフォンの Wi-Fi® 設定画面を表示します。



注

スマートフォンによって、次の操作が必要な場合があります。

- ・ iPhone の場合、ローカルネットワークへの許可が必要です。アプリ設定から許可してください。
 - ・ Android の場合、Wi-Fi® 接続後に接続を維持するかどうかのポップアップが出ることがあります。その場合は接続維持を許可してください。
4. スマートフォンを Wi-Fi® 経由でロボットクリーナに接続します。
 - ・ 初回接続時のみ、Wi-Fi® 接続設定(パスワード入力)が必要です。
 - ・ Wi-Fi® 接続のパスワードは、SSID の下 4 桁を 2 回繰り返し返した英数字が設定されています。
 - ・ SSID が「Robotic_Cleaner_012A」の場合、パスワードは「012A012A」となります。
 - ・ スマートフォンがロボットクリーナと接続しているときは、スマートフォンは他の Wi-Fi® ネットワークにアクセスできません。

5. Wi-Fi® 接続完了後、アプリ画面に戻り PIN コードを入力します。
 - ・ 工場出荷時の PIN コードは、手順 4. と同じ、SSID の下 4 桁を 2 回繰り返し返した英数字が設定されています。
 - ・ PIN コードの認証に成功すると、アプリにホーム画面が表示されます。



6. PIN コードを変更します。
 - ・ PIN コードは工場出荷時のままにせず、必ず変更してください(変更方法は、P.76「PIN コードを変更する」を参照)。
 - ・ 変更した PIN コードは忘れないよう注意してください。
7. [PIN コードが変更されました] と表示されれば、初期設定は完了です。ホーム画面に戻り、アプリをご使用ください。

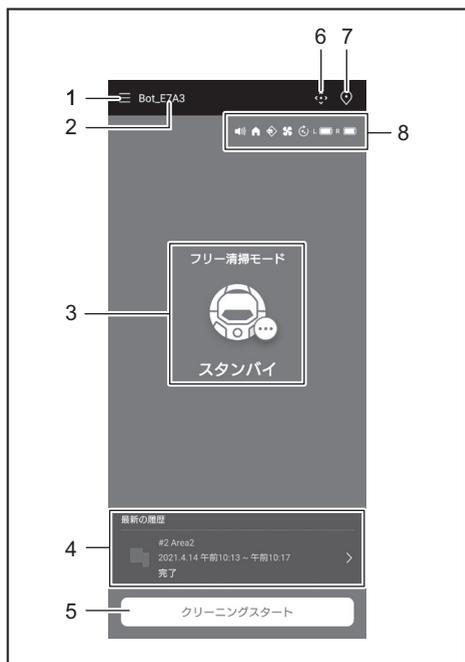
注

途中で接続が切れたときは、一度アプリを終了させ、再度接続をしてください。

Wi-Fi® 接続を切る

Wi-Fi® 接続を切るときは、ロボットクリーナのスマートフォン接続ボタンを押して、スマートフォン接続ランプを消灯します。

ホーム画面



1. メニューボタン（各種設定、履歴確認）
2. ロボットクリーナーの名前
3. ロボットクリーナーの運転状態
4. 最新の掃除履歴（履歴がある場合のみ表示）
5. 掃除（またはマッピング）開始ボタン
6. リモコンボタン
7. モード切替ボタン
8. ロボットクリーナーの設定・バッテリー残容量

-  : サウンドがオンの設定になっている。
-  : ホーミング優先がオンの設定になっている。
-  : センサウォールがオンの設定になっている。
-  : 吸引ファンがオンの設定になっている。
-  : 連続クリーニングがオンの設定になっている。
-  : 左バッテリーの残容量
-  : 右バッテリーの残容量

アプリで掃除をする

ロボットクリーナーはマップ登録不要で使用できるフリー清掃モードと部屋情報を登録し掃除するマッピング清掃モード（61 ページ参照）があります。

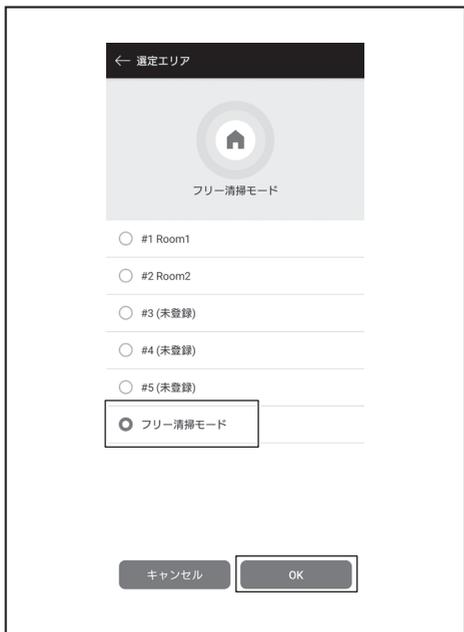
マッピングをしないで部屋を掃除する （フリー清掃モード）

- ・ いろいろな部屋や、頻繁にレイアウトが大きく変わる環境で掃除をしたいときは、フリー清掃モードをおすすめします。
- ・ 明るさが十分に取ることができない部屋はフリー清掃モードをおすすめします。
- ・ ロボットクリーナーの設置場所など、クリーニングやマッピングに関する情報は、29 ページを参照してください。

1. ホーム画面で  をタップします。



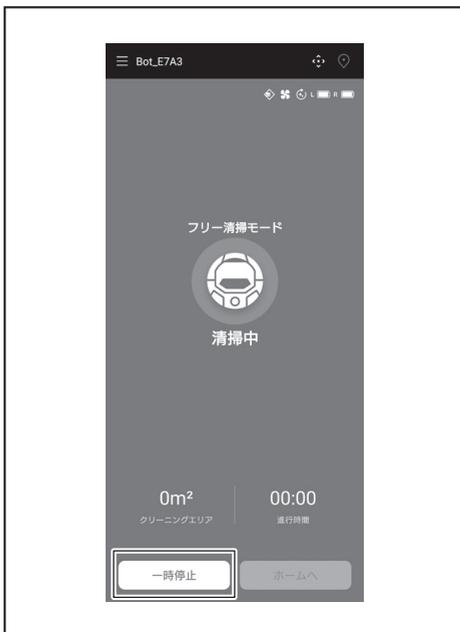
2. [フリー清掃モード] をタップして、[OK] をタップします。



3. ホーム画面で [クリーニングスタート] をタップして、ロボットクリーナの掃除を開始します。



・ [一時停止] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を一時停止します。



- 一時停止中は、以下の操作ができます。
 - ・ [再開する] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を再開します。
 - ・ [ホームへ] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を開始した地点に戻ります。ロボットクリーナがスタート地点に戻ると、アプリの画面はホーム画面になります。
- 掃除したい部屋をタップして、[OK] をタップします。マップの追加や変更、削除を行いたい場合は、66 ページの「マッピング情報を追加／変更／削除する」を参照してください。

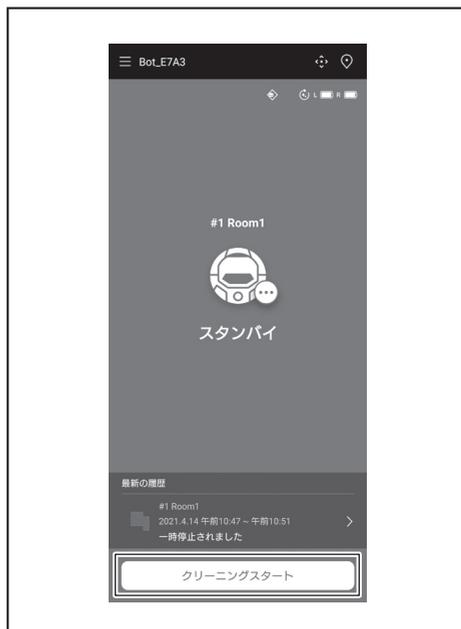


- マッピングを開始した位置にロボットクリーナを置いて [クリーニングスタート] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を開始します。

マッピングした部屋を掃除する

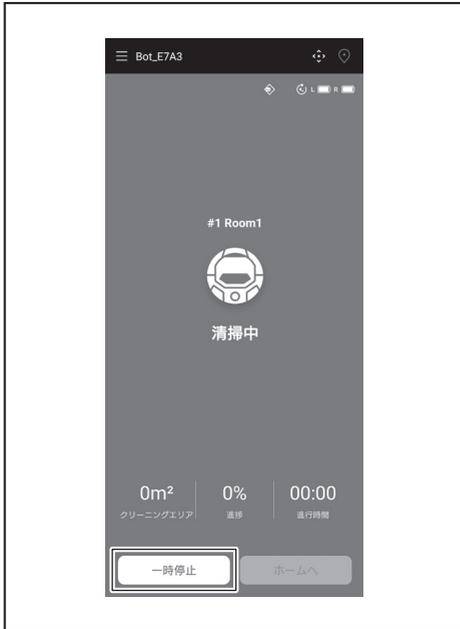
- ・ マッピング清掃モードは、マッピング済みの部屋をロボットクリーナが効率良く掃除するように動作します。
- ・ マッピング清掃モードを使用するには、マッピング情報の登録が必要になります (66 ページ参照)。

- ホーム画面で  をタップします。



- ・可能な限り、マッピング作業開始時と同じ向きで置くと、よりスムーズに掃除を始めます。
- ・[一時停止] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を一時停止します。
- ・クリーニング開始時、部屋の形状とマッピング情報が一致しないときは、エラー画面が表示され、ロボットクリーナは掃除を停止します。掃除する部屋が正しいか確認して、ロボットクリーナをスタート地点に置いてください。
- ・マッピング情報のスタート地点から離れた場所にロボットクリーナを置くと、エラー画面が表示されます。
- ・マッピングした部屋の掃除については、30 ページを参照してください。

4. 一時停止中は、以下の操作ができます。
- ・ [再開する] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を再開します。
 - ・ [ホームへ] をタップすると、ロボットクリーナは掃除を開始した地点に戻ります。ロボットクリーナがスタート地点に戻ると、アプリの画面はホーム画面になります。



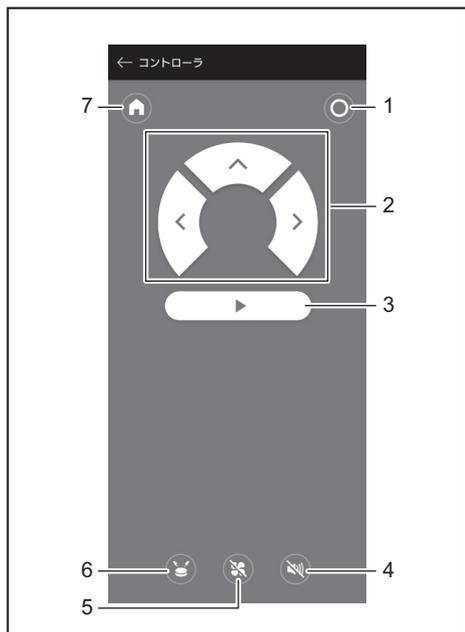
アプリでロボットクリーナを操作する

ロボットクリーナに付属のリモコンのようにアプリでロボットクリーナの操作をすることができます。

1. ホーム画面で  をタップします。



2. 各ボタンをタップして、ロボットクリーナを操作します。
 - ・アプリではロボットクリーナの後退をすることができません。



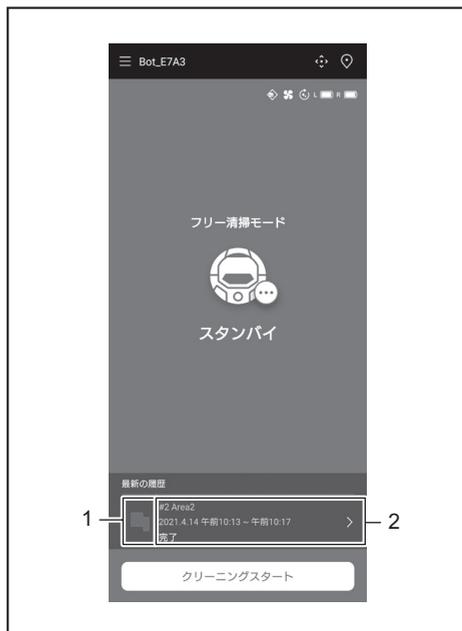
1. 電源切ボタン
2. 操作ボタン
3. スタート/ストップボタン
4. サウンド入/切ボタン
5. 吸引入/切ボタン
6. 位置おしらせブザー/ライトボタン
7. スタート地点ボタン

掃除の履歴を確認する

アプリで掃除の履歴を詳しく確認することができます。

最新の履歴を確認する

ホーム画面で [最新の履歴] のマップをタップします。



1. 最新の履歴を表示します。
2. 履歴一覧を表示します。

これまでの履歴を確認する

履歴は最大 15 件まで保存されます。履歴は古いものから削除されます。

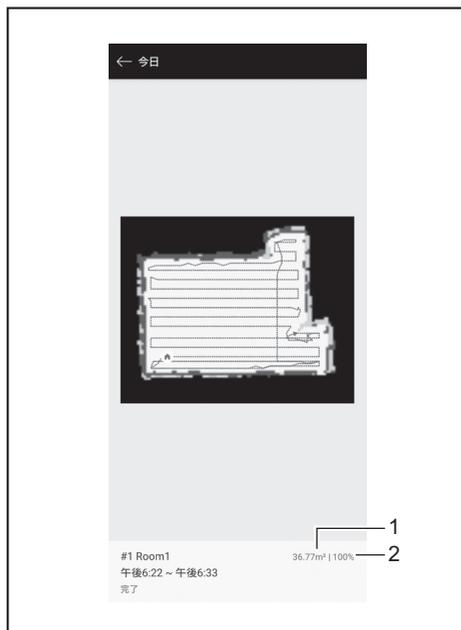
1. ホーム画面で [最新の履歴] の  をタップします。または、ホーム画面の  をタップしてから、[クリーニング履歴] をタップしても履歴を確認することができます。
2. 確認したい履歴をタップします。



1. 掃除した部屋、または掃除モード
2. 掃除した時刻
3. 掃除の状態 (完了、中止、一時停止など)

履歴の詳細情報は以下の通りです。

- ・ 青緑の破線：ロボットクリーナの軌跡
- ・ 黄色：ロボットクリーナの掃除範囲
- ・ 青色：バンパーセンサで検知した障害物
- ・ 緑色：超音波センサで検知した障害物
- ・ 桃色：段差センサで段差を検知した場所
- ・ 紫色：センサウォールを検知した場所
- ・ 白色：未清掃の範囲
- ・ 灰色：LIDAR で検知した壁、または障害物



1. 掃除した面積
 2. マップの総面積に対して、掃除した割合 (マッピング清掃モードのみ表示)
- 掃除した面積などは正確にその数値を保証するものではありません。目安としてご活用ください。

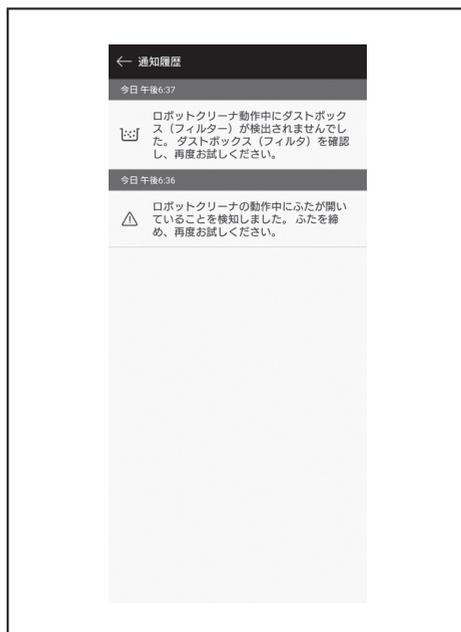
通知履歴を確認する

エラー履歴のうち最新の 10 件を確認することができます。履歴は古いものから削除されます。

1. ホーム画面で  をタップします。



2. [通知履歴] をタップします。



マッピング情報を追加／変更 ／削除する

マッピング情報の追加や変更、削除はメニュー画面の[エリア設定] から行うことができます。

1. ホーム画面で  をタップします。



2. [エリア設定] をタップします。



マッピング情報を追加する

- ・ 最大10,000 m²のマップを5つまで保存できます。
- ・ 10,000 m²の制限に対して、マップの面積は掃除範囲とは別に、マップ全体を囲む長方形の面積として計算されます。

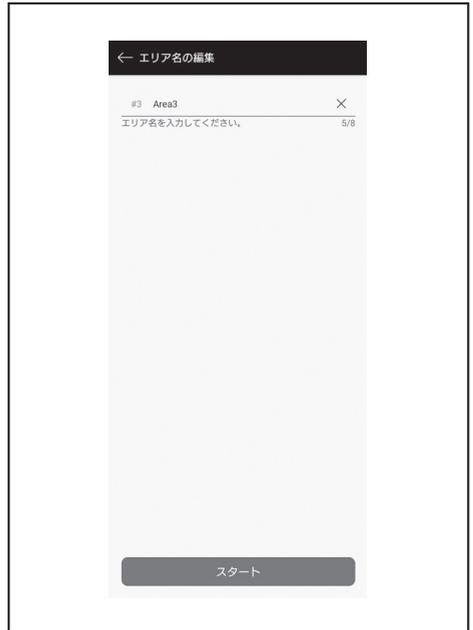
1. [エリア設定] 画面で [新しい地図を作成] をタップします。



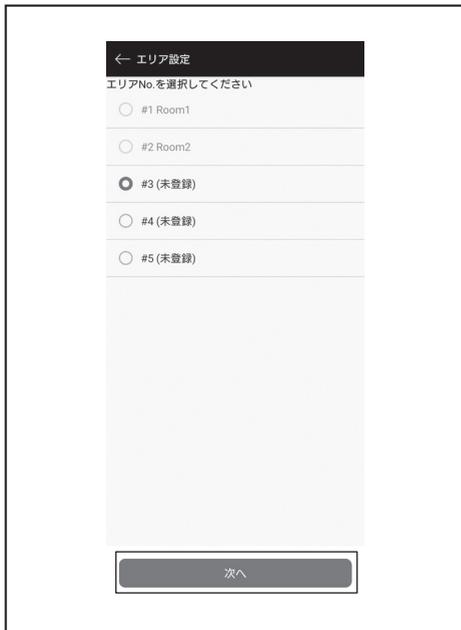
2. 注意文が表示されるので、[OK] をタップします。



4. エリア名を入力します（最大8文字）。



3. マッピング情報を保存したい空きスロットを選択し、[次へ] をタップします。



5. [スタート] をタップします。

6. ロボットクリーナがマッピングを開始します。
- ・ [一時停止] をタップすると、ロボットクリーナはマッピングを一時停止します。
 - ・ 一時停止後、[ホームへ] をタップすると、ロボットクリーナはマッピングを開始した地点に戻ります。タップした時点までに作成したマッピング情報が登録されます。ロボットクリーナがスタート地点に戻ると、アプリの画面はホーム画面になります。



7. マッピング完了後に禁止エリアの設定を行う場合は、[エリア設定へ移動します] をタップします。禁止エリアの設定は、71 ページを参照してください。



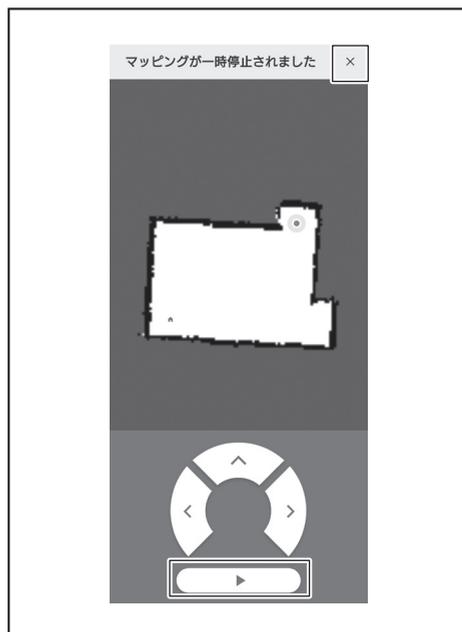
手動でマッピング情報を追加する (マニュアルマッピング)

マッピング中にアプリから手動でマッピング情報を追加することができます。複雑なレイアウトの部屋をマッピングするときにおすすめします。

1. [一時停止] をタップしてから、 をタップして、操作ボタンを表示します。



2. ロボットクリーナを部屋のレイアウトに沿ってアプリ上の操作ボタンまたはロボットクリーナに付属のリモコンで操作します。
 - ・ 手動でマッピング情報を追加した後、 をタップすると、自動マッピングを再開します。
 - ・ マッピングを終了する場合は、 をタップして [ホームへ] を選択するか、ロボットクリーナに付属のリモコンのスタート地点ボタンを押してください。



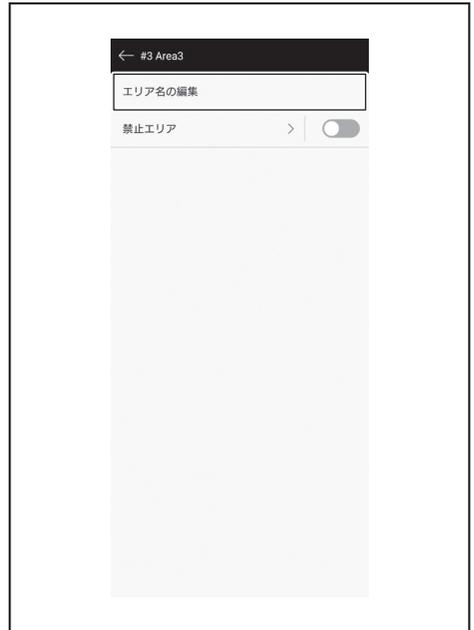
マッピング情報の名前を変更する

[エリア設定] 画面で変更したいマッピング情報をタップします。
名前をタップすると、各種設定画面へ移行することができます。

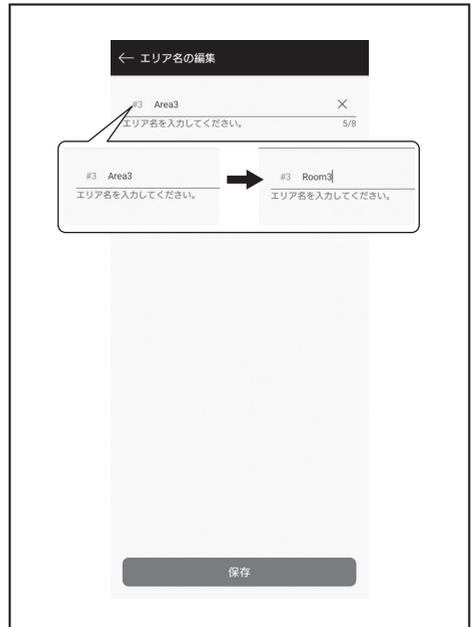
1. [エリア設定] 画面で変更したいマッピング情報をタップします。



2. [エリア名の編集] をタップします。



3. 名前を編集します (最大 8 文字)。



4. [保存] をタップして、名前を確認します。

掃除範囲を制限する（禁止エリア設定）



侵入や落下によって事故が発生する可能性がある場所との境界線として、掃除禁止エリアを使用しないでください。

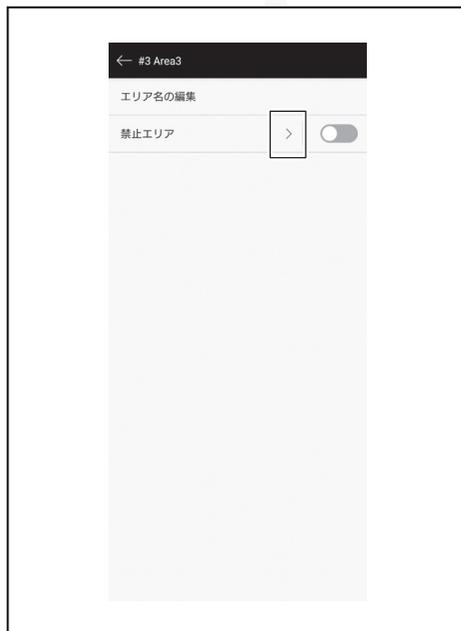
- ・ ロボットクリーナの侵入や落下による、事故やけがの原因になります。ロボットクリーナの実際の軌跡は、クリーニング禁止エリアの設定と若干異なる場合があります。

ロボットクリーナの侵入や落下の可能性のある場所には、高さ 25 cm 以上の壁になるもの（ロボットクリーナが当たっても移動や転倒しないもの）を平面に設置してください（21 ページ参照）。

1. [エリア設定] 画面で変更したいマッピング情報をタップします。

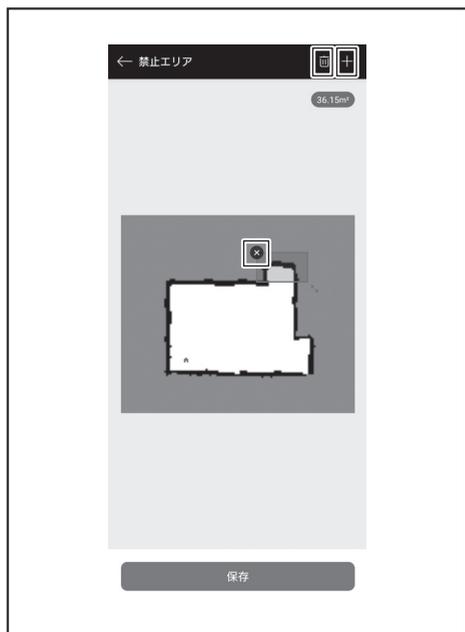


2. [禁止エリア] の横にある > をタップします。



3. 掃除禁止エリアを設定します。

- ・画面右上の  をタップすると、掃除禁止エリアを追加できます（最大 100 個）。
- ・掃除禁止エリアはドラッグして、移動することができます。
- ・掃除禁止エリアの右下端をドラッグすると、大きさを調整できます。
- ・掃除禁止エリア左上の  をタップすると、掃除禁止エリアの削除ができます。
- ・画面右上の  をタップすると、掃除禁止エリアをすべて削除できます。
- ・スタート地点付近には掃除禁止エリア設定はできません。
- ・設定した掃除禁止エリア付近の環境によっては、指定エリア周辺を掃除できないことがあります。



4. [保存] をタップすると、変更したマッピング情報が登録されます。
5. 登録した禁止エリアを有効にするには、[禁止エリア] の横にあるオン/オフ（オンは緑色）をタップします。



マッピング情報を削除する

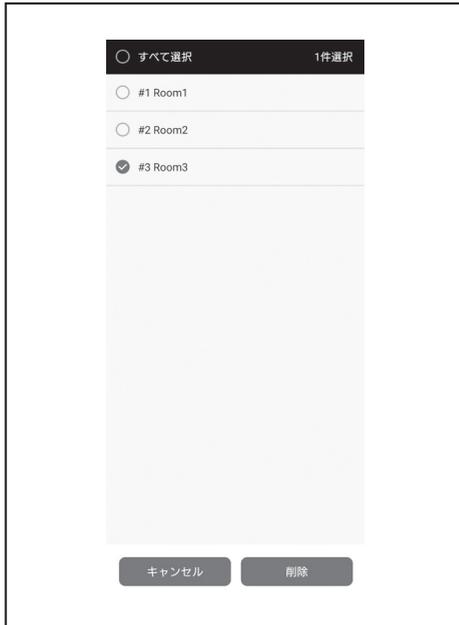
1. [エリア設定] 画面で  をタップします。



3. [削除] をタップします。
4. 注意文が表示されるので、[OK] をタップします。



2. 削除したいマッピング情報を選択します。
- ・ 選択されたマッピング情報には先頭のマルに色が付きます。
 - ・ [すべて選択] をタップすると、全選択できます。



設定を変更／確認する

設定の変更や確認をメニュー画面の [ロボット設定] から行うことができます。

1. ホーム画面で  をタップします。



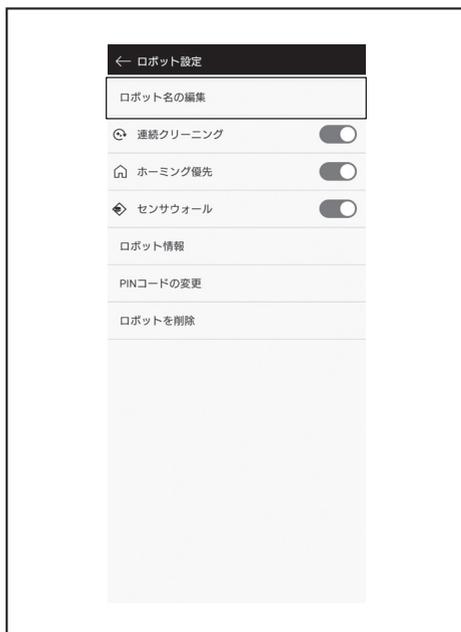
2. [ロボット設定] をタップします。



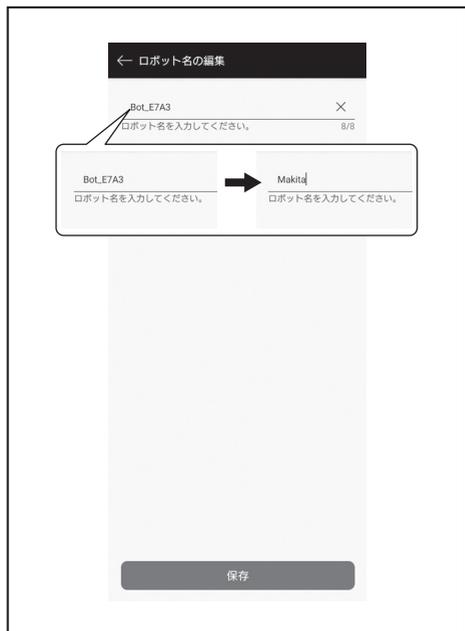
登録したロボットクリーナーの名前を変更する

ここで編集できるロボットクリーナーの名前は、アプリ内での識別用です。Wi-Fi®のSSIDは変更されません。

1. [ロボット設定] 画面で [ロボット名の編集] をタップします。



2. 新しい名前を入力します（最大8文字）。



3. 名前の入力完了したら、「保存」をタップします。

掃除オプション設定

1. 必要に応じて、「ロボット設定」画面で「連続クリーニング」または「ホーミング優先」の横にあるオン/オフ（オンは緑色）をタップして設定します。
 - ・「連続クリーニング」：ロボットクリーナが掃除エリアをすべて掃除する前にバッテリー残量がなくなった場合、次の掃除で残りの未清掃エリアから掃除を再開する設定にしたいときに選択してください。
 - ・「ホーミング優先」：ロボットクリーナが掃除開始地点に戻れていないことが多い場合に設定することをおすすめします。通常よりもバッテリー残量が多い状態で、掃除開始地点に戻り始めます。
 - ・「センサウォール」：センサウォール機能をオンにすると、ロボットクリーナは床面に設置したセンサウォールシートを認識します（35 ページ参照）。



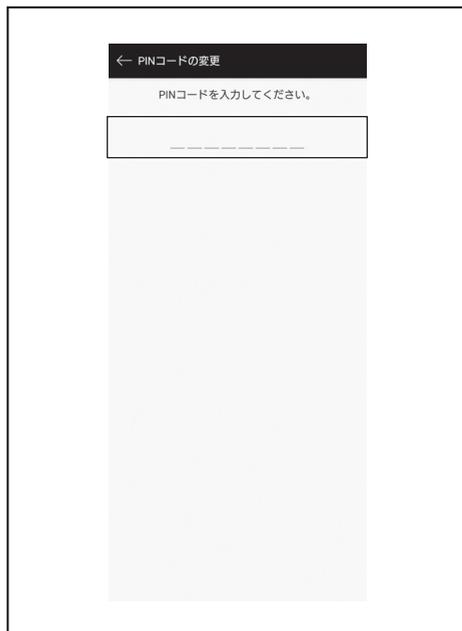
PINコードを変更する

ロボットクリーナのPINコードを変更することができます。設定したPINコードを忘れた場合は、P.41「設定をリセットする」を参照してロボットクリーナを工場出荷時の状態に戻してください。工場出荷時のPINコードを確認するには、P.58「初期設定」を参照してください。

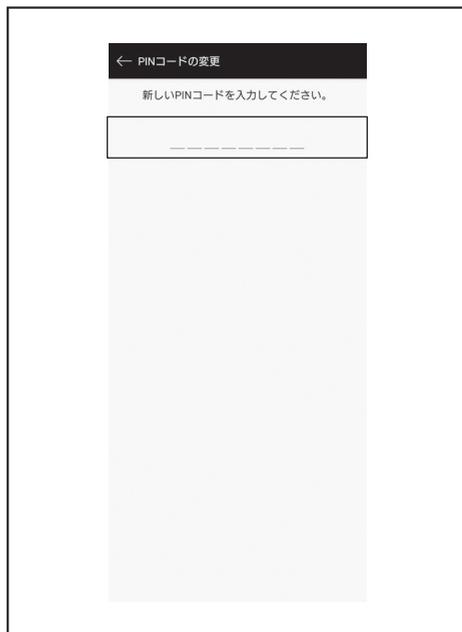
1. [ロボット設定] 画面で [PINコードの変更] をタップします。



2. 現在のPINコード（8桁）を入力します。

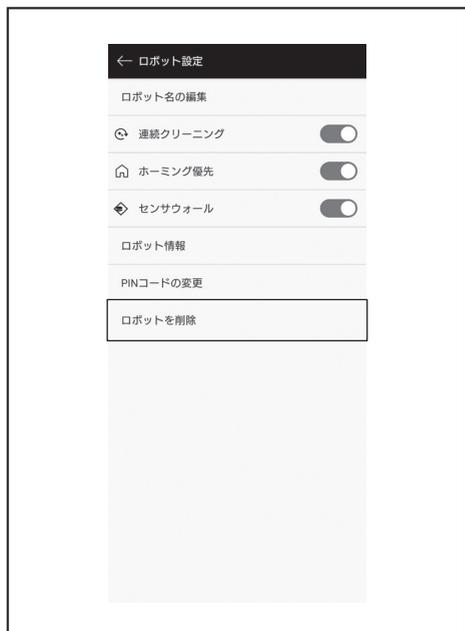


3. 新しく設定したいPINコード(8桁)を入力します。
新しいPINコードは2回入力します。



登録したロボットクリーナ情報を削除する

1. [ロボット設定] 画面で [ロボットを削除] をタップします。



2. 削除を確認する画面が表示されますので、[削除] をタップして、削除を確定します。



アプリ情報を確認する

1. ホーム画面で  をタップします。



2. [アプリ情報] をタップします。



3. 確認したい情報をタップします。



トラブルシューティング

エラーメッセージ

エラーが発生すると、エラーメッセージやダイアログが表示されます。この場合、メッセージまたはダイアログの指示に従ってください。



881G37C6
CRE

株式会社マキウ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)